

直線裁

銀座亞紀枝著



—衣裝革命としてこの一書を捧ぐ—

第一卷

わたしの刺子と手縫

刺子を手がけてより今年は十一年目になります。若い時から藍糸が好きでしたし、それを作品で表現するには刺子で服にするのが一般化があると思いました。当時は並やの布で服を作る人もあまりなかつたのですが、それを刺子でやつていいのはどこにも見かけませんでした。また、その刺子服を手縫で仕立てたのは、刺子を始めて半年後のことであります。以来、刺子と手縫仕立は一体となつて今日まで参りました。刺子の醍醐味は手縫(他にはあります)。刺子は生活そのものでなければなりません。前夫より=児を引きとつて、教室一お店と拠点で行くことになりました。刺子の刺繡そのものの連続で、その間ずっと息子の大策ベニ十五才・独身一が青春をかけて支えてくれました。

刺子を手縫で仕立るということはよほどの意志がないと出来ませんでした。刺子の針目も一ミリ位から一セン四五ミリ位まで用い、それも一本取り、一本取り、四本どりと自らにして、立体感を出してあります。こういう刺し方は、手縫であることをあいまって、私だけの「刺子」になりました。刺子の針目も、一生懸命に刺したものであれば、繊介不揃でもそれはそれで手作りらしくてよいと思ひます。あんまり上手くなつたら遂に繩核がやつてのける時代が来て、上手なのがよくなくなります。手あみも不揃いが味で、上手なのがよければ縫机がいくらでも奥へ縫んでくれます。今、私の小売店(九店舗)ではすべて手縫の刺子があふれ、全品私一人のデザインに依るものであります。手作りの自着の本も十冊位になりました。

本書を参考に、貴女う(い)い作名をお案内下さいませ。

S. 62. 5. 銀座亞紀枝

(本体2,400円) 税込 A

直線裁

手縫の洋裁 並中と左中裁・付手縫帖

発刊に際して――

文明が発達するにつれ、手づくりのものが貴重になつて来るのは云うまでもありません。その中にても形の単純なもの、同じものがなゝもの、機械作業では作れないものは特別に大切になつて参ります。そういつた意味合いから、直線裁で手縫の洋裁やインテリヤが出来たなら、得がたい価値のあるものと申せましよう。

△ 単純なものは美しい

直線裁の和服は、婦人物長着にしてみると、基本のつくり方は一つのみですが、柄、色、帯などのとり合せ方だけで千変万化してあきな美しさがあります。縫や格子柄は、日本の食物で云えばお茶づけの味でしょうが、その中でも単純な柄合いほどあきず美しいものが、單純であります。こう風な意味合いから直線裁したう、どんなに奥したがりでしょう。

△ 手縫のあたたかさ

忘れられた手縫……今は、着物すらミシンがふえました。が、日本の手縫の技術は、世界に誇れるものです。適材適所に縫

オを考へ、その種類の豊富さには感嘆せられます。一本の針で優しく縫いあげたものの、何んとあたたか味のあることでしょう。直線裁のものを手縫で仕上げるダイゴ味は一度経験すると忘れられません。

この種の本を日本で初公開させて、載きます。本書の骨子は、私が開いています刺子教室及び手縫洋裁教室で教えて来たことです。それを今回はあえて全国の皆様に御披露し、更に詳しく書き加えました。

本書を基として、本当の意味の直線裁手縫の爱好者の輪が広がりますよう願つております。

△布の扱い方

天然繊維の布は防縮加工がしてない限り、洗うとどれでも縮みます。ですから裁つ前に必ず水とおしを致しましよう。

本書では、直線裁で手縫の味が、最も生かされる素材として天然染料で染めた木綿布を対照として項を進めて行きた、と思います。

並巾布：巾2039×13m〔自然堂製布による〕

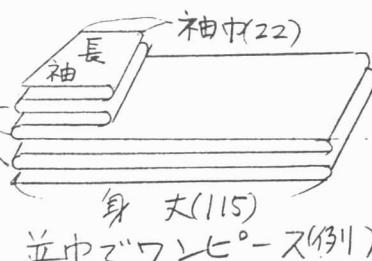
○縮み代 同じ巾と丈でも、色、厚サ、織方によ
つてまちまちですが、大体目のつんでいふもの
ので五分、平織で一割まで縦横とも縮みます。
○洗い方 縮むことの外に、のり気や、不純物を

「一 色 小 布 藍 染 及物」及物をほごして洗濯機で洗います。
「たら、先ず洗濯機に水をはって洗濯を少々入れて（洗濯なしでも可）よくまぜ、その中へほごした及物を入れ五十分まわしてすすぎ脱水して、四つ折りにして竿にかけて日かけが、室内で二日位かけてゆっくり乾します。途中裏返しすると平均して乾きます。そのあとアイロン仕上します。藍染はすすいでも色が止りませんので、石けん分がなくなりたら脱水です。物・未晒洗濯なしで二、三回廻し、水分子布にしみあたつたら脱水します。あと藍染と同じです。

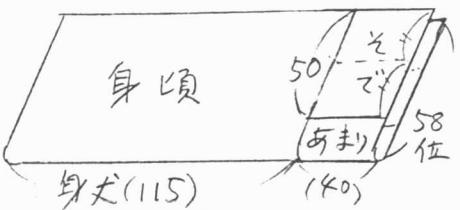
△裁ち方西女占大

一、作るものの大キナを考える。
着るもの。着丈、袖丈、身巾、着る季節、場

。持つもの、容れる物の大きさ、持つて行く所
のインテリヤ、置く場所、寸法、季節



○ 並んで「ワンヒース(例)」



。大中で“タイトなフレーズ”(例)

インテリや

並巾… 実寸÷上り巾35=?丈

$$\cdot \text{大巾} \cdots \cdot \div \cdot 1114 = ? \text{丈}$$

衣装革命として
この一書を捧ぐ

現代の洋服は、あまりにも裁ちキザまれ過ぎました。体にぴったりついているために、ちょっと体型が変るともう着られません。ほどいて何かに更生しようとしても、真中のとれる部分は、いくらくもありません。又、前後がきまつてゐるつで傷むところが片寄ります。流行も変るので、あまり着てないものでも何年もたつとは

こういった洋服のなやみを一举に解決するには、直線裁でしかも前後なしの「デザイン」になります。直線裁のものは、流行がなく、太っても瘦ても着られ、それをほどけば巾が丸ごと使って更生に便利です。形がストンとしているので着てベルトをしたり、袖をまくったり、前と後を交互に着ることも容易であります。また、それを木綿で作ると同じ一枚のものが一年中着られるのです。長袖なら少ししまくつて半袖位に折るとラフな夏の着こなしになります。スリーブは直角の秦肌に、合と冬は下へ着んで、ボンヤリやジヤンパー、スカートに変身い

リ一をつけてパ一ティへ、それに日本の代表模様の、つる、かめ、松竹梅などがついていれば、お茶出たい席へ、無地か、家紋入りでしたら茶式へ行けます。

着流しが気になる時は、ゴムかひもで締めるとかなり体型になじか動き易くなります。

普通の洋服では要つて当然前ウチヤフクやボタンすら直線裁にはあまり用がありません。どうレターボタン位ほしい時は、くるみボタンで共布でくるみ・ひつかけは、布に穴を開けてからいそ

この頃私は、広い布を斜に切るもの勿体ないよ
うに思えてなりません。切るには傷しにつながるようで、出来るだけ切り傷をつくりたくない
うしても切るなら浅く、単純に、真直ぐに切
る。草木染や藍染の布など特に、手造りの人々
の心をこめた作業を想うと、布がいとほしくて、
一回の鉄フかいも慎重になつて参ります。いつも
切らないで、ずつと大きめに居ようか知らなど
と思うことすらある位です。

切りはじめる一センチ、え一ミリに至る
まで切りきさまないと洋服にならないので、それ
を如何に切らないかを考えていふと、単純でスワ
キリとした永遠の夜装が生れて参ります。

この衣装一つを以つても、現代文明のありよう
をよくあらわしておられます。文明人は、もはや原
始にもどれません。しかし文明を超えたところ
に原始とよく似ていふが違う。前衛的原始がそこ
にあるようです。洋服へ貴女をハサないましょう。

4,

カギホウ3~4 ~~14.5~~

~~カギホック3~4 14.5~~ → 3~4 カギホック

33

まつりくじけ
(平10-3)

一袋縫

丈を長くするとコングドレスで、寝巻からバーティまで。丈を60~70cmにするとブライダルスに。袖丈を半袖にとつて半袖に。袖無しで盛夏用及びジャンパースカート。

割り伏せ折り
まつり

半透し縫

23

2

(一) 基本

1及之後
37×1170

108

1

(710-3)
まつり
くけ 3

前

40

誰に向けにで
ますが、片
代がす。

後後し
がなつの

A diagram showing a vertical document folded into four horizontal sections. The left side has a label '(後)' in parentheses. The right side has a label '差つ
りませんえん' followed by a small circle.

ノイズ

必ず
にし
ても

並 中 37	115	"	"	"	25	"	"
	前 身			後 身		袖 :	袖 :

A technical drawing of a garment pattern, likely for a kimono or similar traditional Japanese garment. The pattern is labeled "身頃 (4枚重ね)" (Body Part, 4 layers) with a double-headed arrow indicating a width of 1. The pattern includes several measurements: 1.5 cm for the shoulder width, 1.5 cm for the neck opening, and 1.5 cm for the sleeve opening. The pattern is divided into sections labeled "袂付" (Sleeve Attachment) and "腰" (Waist). A label "柄付" (Pattern Attachment) is located at the top right. The pattern is oriented vertically on the page.

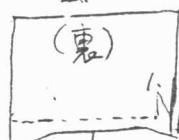
A diagram of a cylinder. A horizontal dashed line extends across the middle of the cylinder, with a vertical dashed line extending upwards from its right end. A circled 'D' is positioned at the top right corner of the cylinder's top face.

並中3

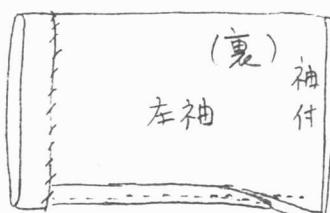
袖は、動き着
の場合はゴム
を通すとよ
う。

5.

⑧袖の縫方



卷之三



(6) 背
筋
を
背
筋
を
袖
付
ま
で
縫
う。
(7) 袖
下
を
袋
縫
して
袖
口
を
ま
す。
(8) 補
ま
り.

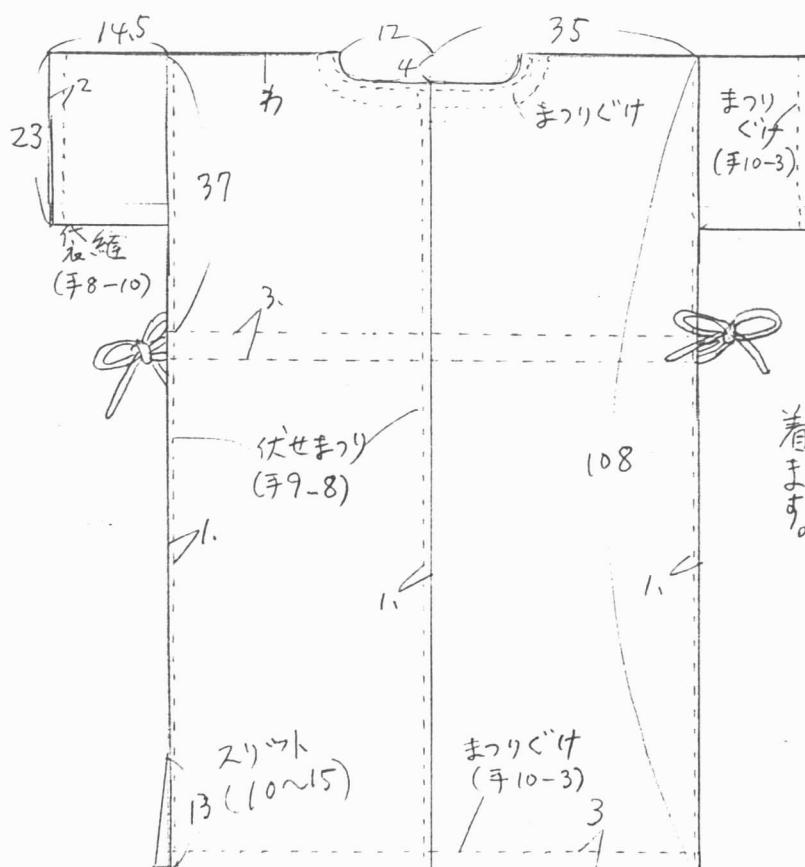
This technical drawing illustrates the construction of a Japanese garment, likely a kimono or haori, focusing on shoulder reinforcement and hemming.

The top diagram shows a cross-section of the shoulder area. It features a central vertical line labeled "中央" (Central) and "裏" (Back). A horizontal line labeled "かぶり口" (Collar Mouth) runs across the top. A dashed line extends from the collar mouth down to the shoulder area. The shoulder area is reinforced with a triangular shape. Labels include "羊返し" (Sheep's back) on the left and "縫合" (Seam) on the right. A circled number "③" is placed near the reinforcement area, with handwritten notes: "さらしき" (Sashiki), "2つ折りに" (Folded in half), and "して軽く縫いつけた" (Sewn loosely). Below this, a bracketed note reads "(前・後共=首元の補強)" (Front and back = Neck reinforcement).

The middle diagram shows a similar cross-section, but the reinforcement area is now attached to the main fabric. A circled number "④" is placed next to it, with the handwritten note "(裏)" (Back) indicating the side where the reinforcement is attached.

The bottom diagram shows a cross-section of the hem area. It features a central vertical line labeled "中央" and "表" (Front). A horizontal line labeled "かぶり口" runs across the top. A dashed line extends from the collar mouth down to the hem area. The hem area is reinforced with a triangular shape. A circled number "①" is placed near the reinforcement area, with the handwritten note "前後の中央を縫います。縫代は表から見て左へ伏せ(前後とも)してまつります。" (Sew the central part of the front and back. Turn the seam allowance under (both front and back) and sew it over. The seam allowance is visible from the front side). A label "虫止め" (Bug stopper) is also present on the left side of the hem.

手
(一)
2.

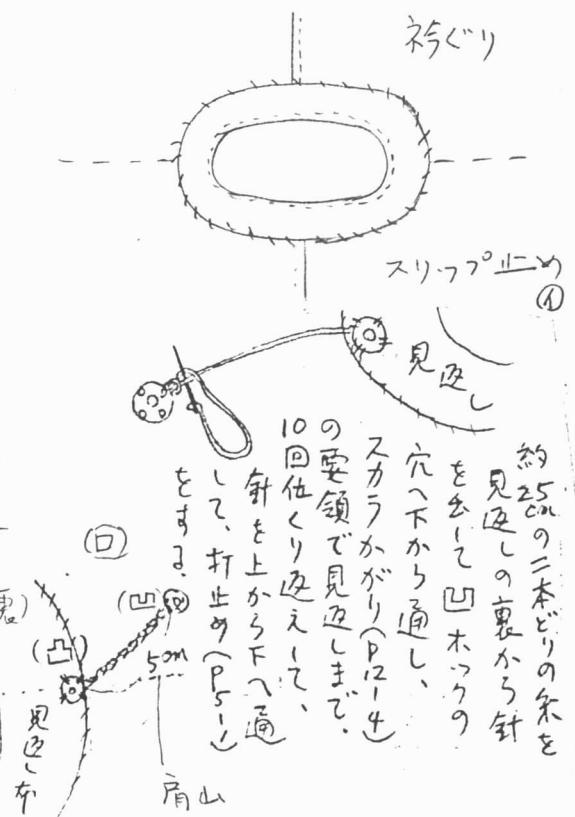
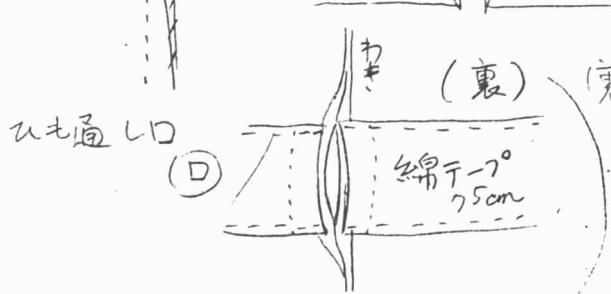
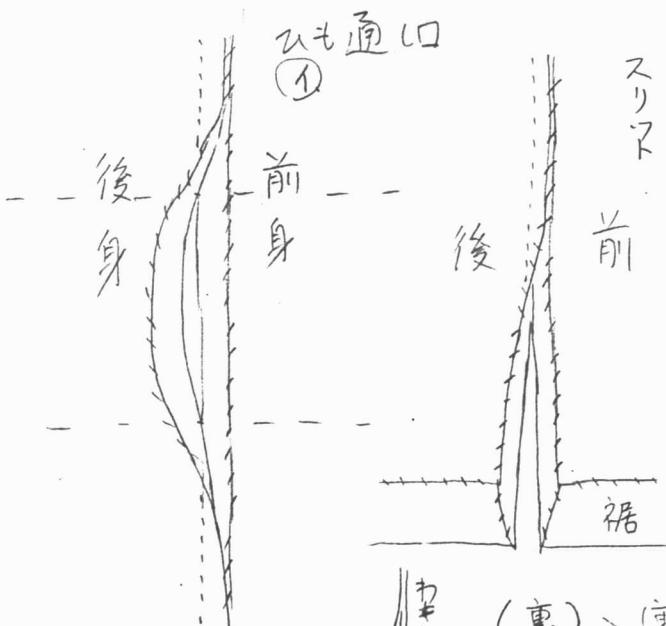
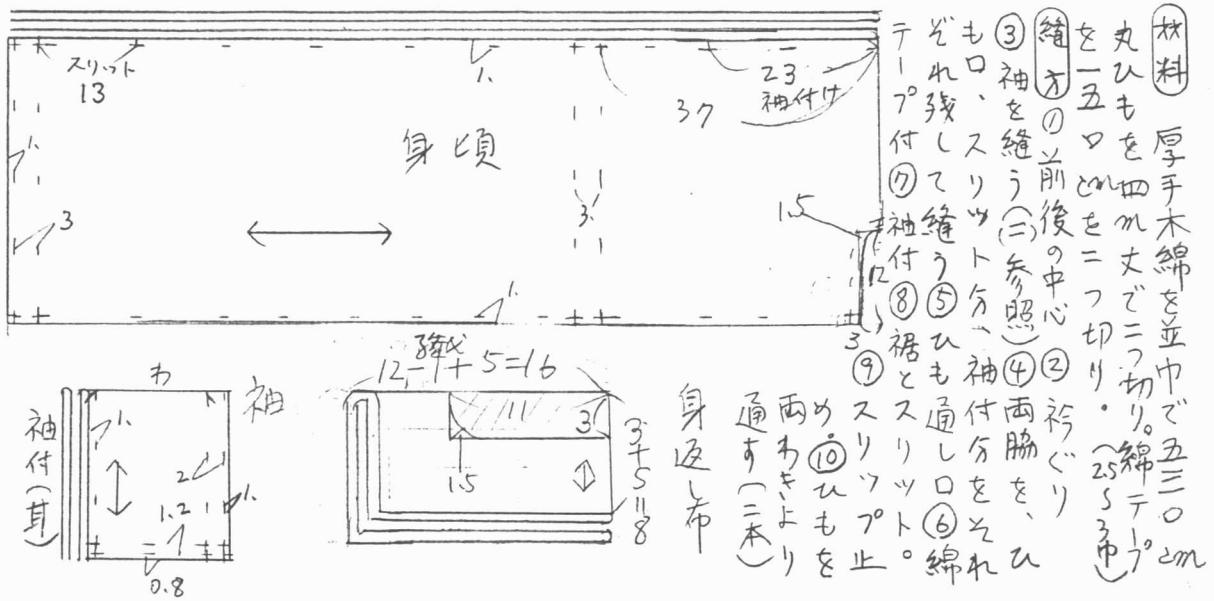
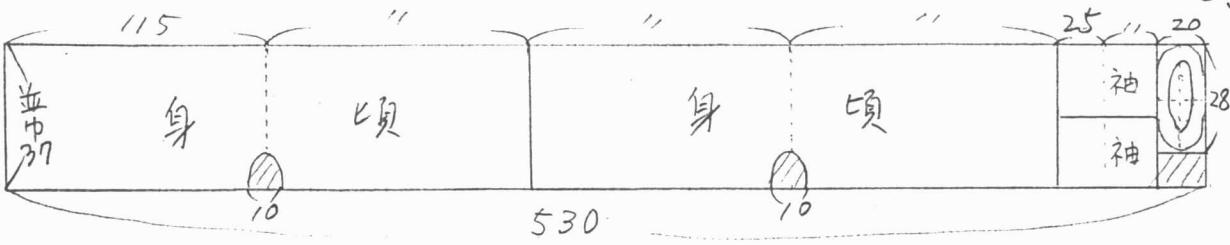


(二) ウエストをしまる
三曲アーチ。

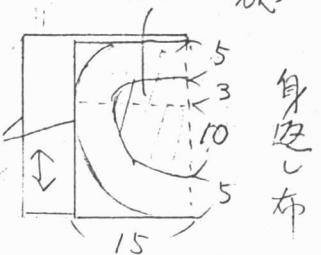
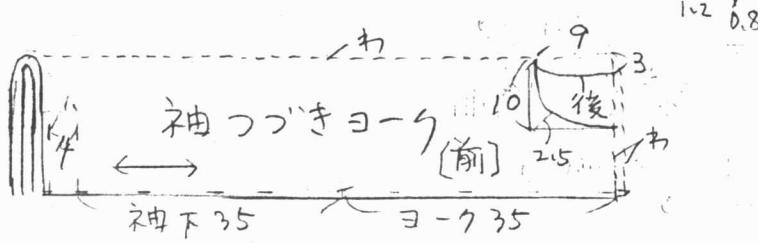
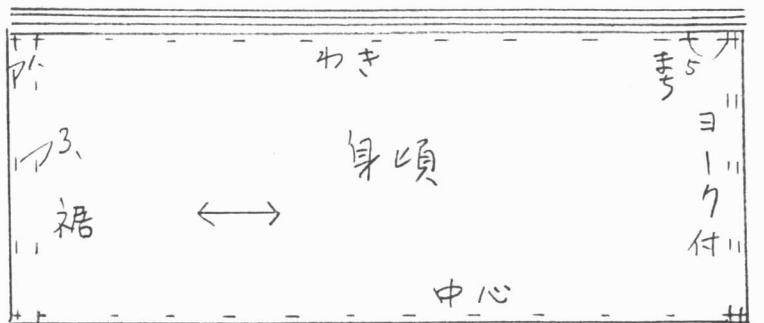
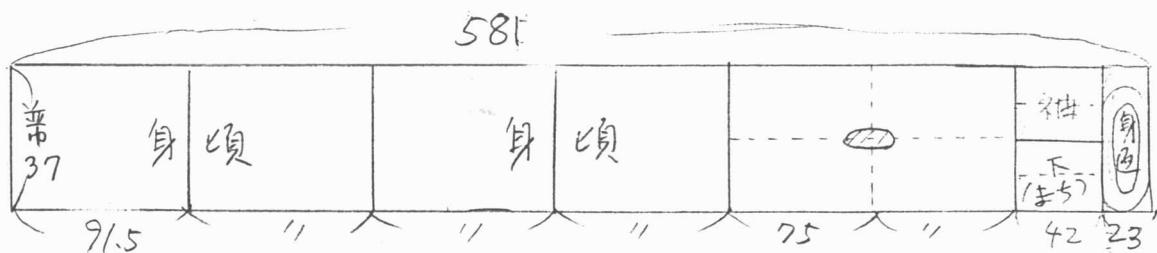
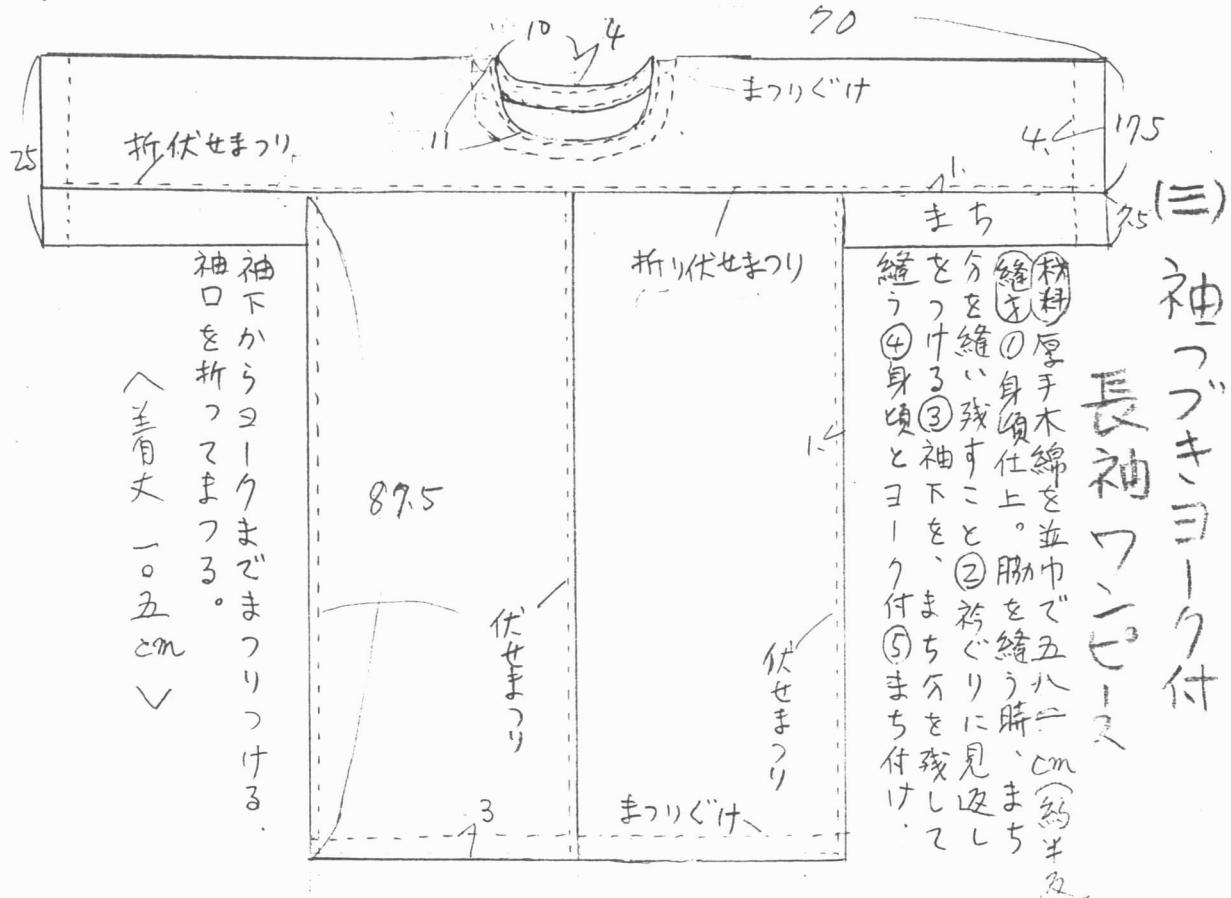
ウエストをや着袋のようにしほつて
着ます。

口、糸を往復してからける

カギ針でくさり編
(わき)

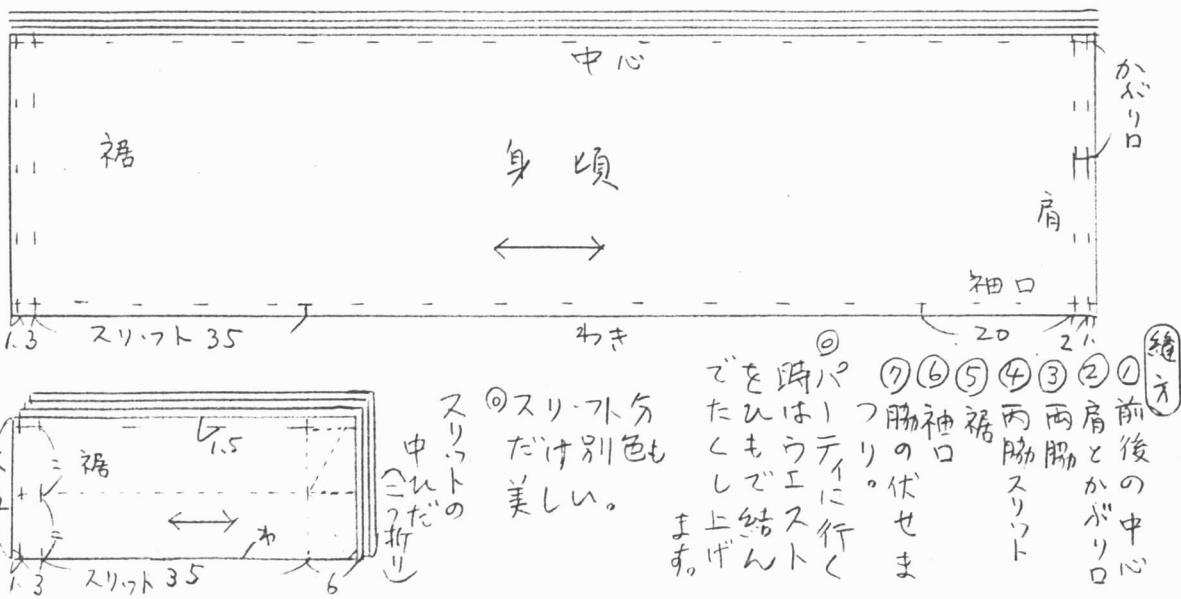
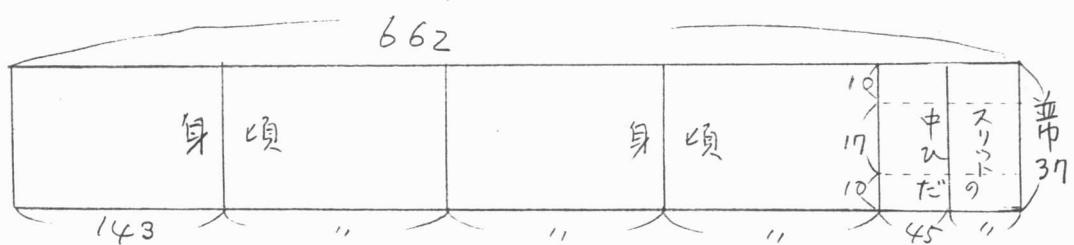
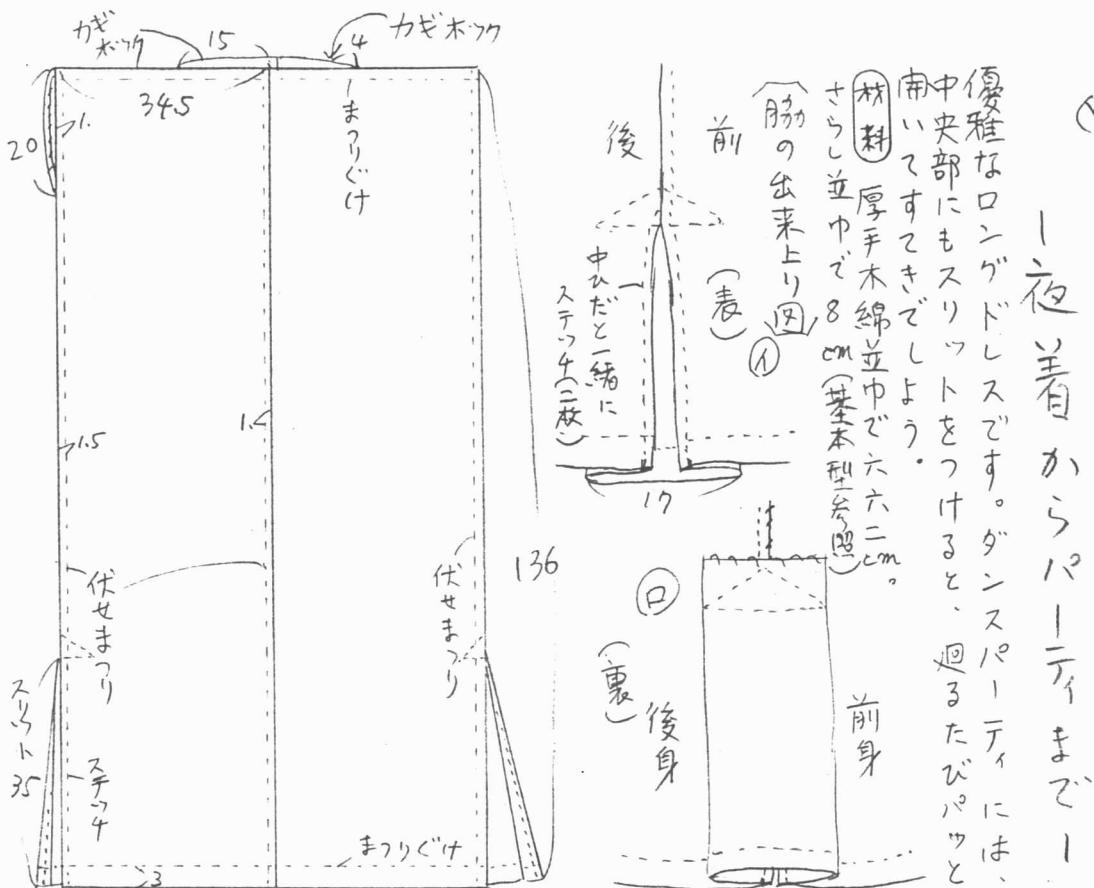


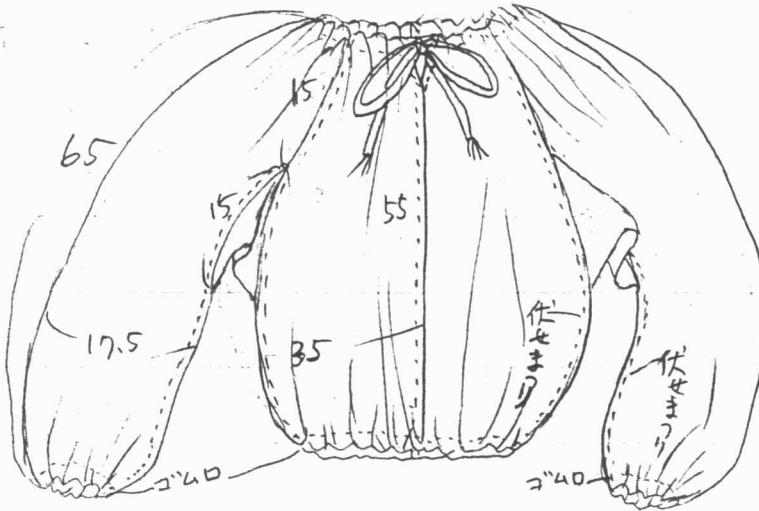
手
(一)
3.



8.

(四) ロニグドレス

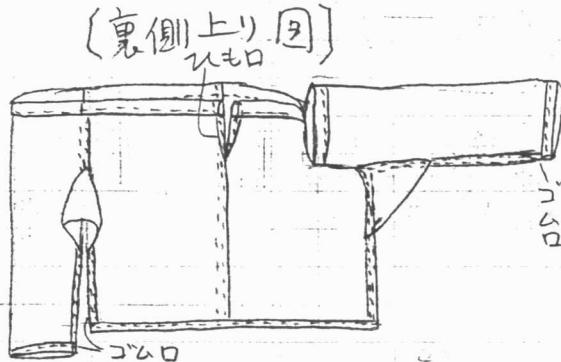




(一) 前項のワニピースの丈を五五とセロ位の丈に切
つただけで、どれもブラウスになります。
またこれから記すブラウスは、遂に丈を長く
するだけです。ワニピースに変ります。

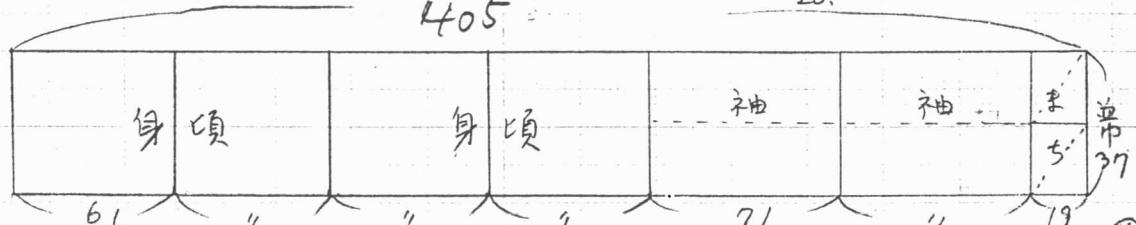
ギヤザーブラウス

基本型

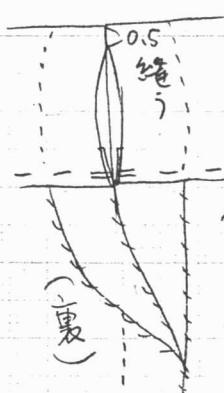
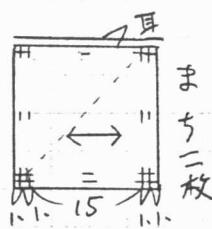
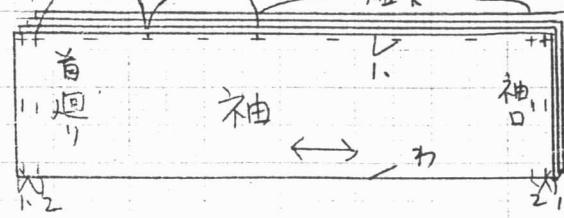
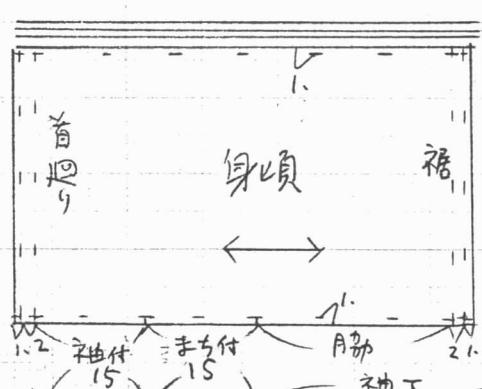


用尺：うす地の浅葱
ゴム口四。五cm
裾用8ミリを65.
ひも100S
180(全周)
20.

405

まち
ち
37中
央
付
合

① 縫
② 中
央
付
合
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
袖上と下各ゴム口
袖下と袖上各ゴム口
通

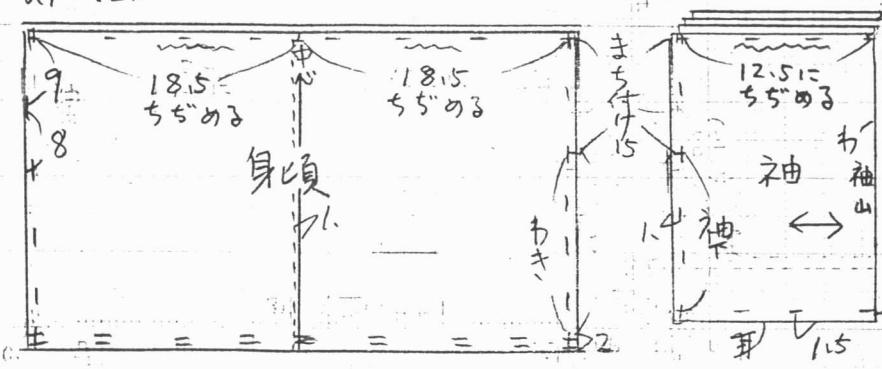
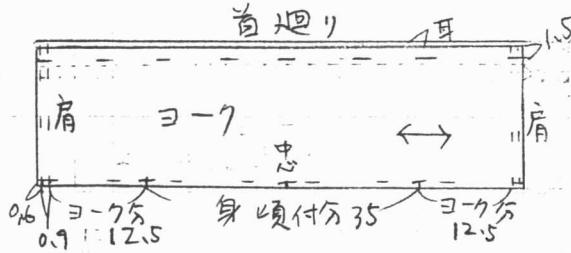
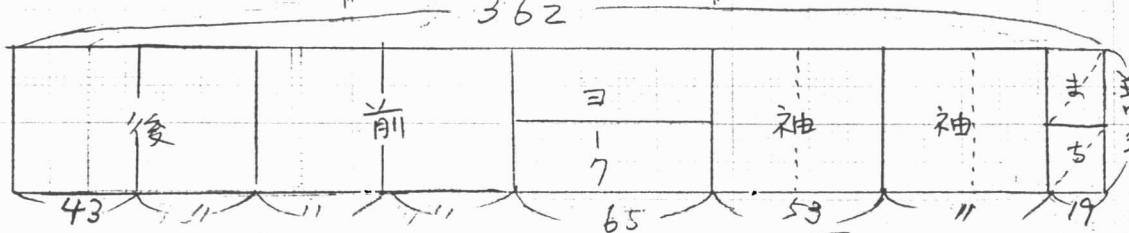
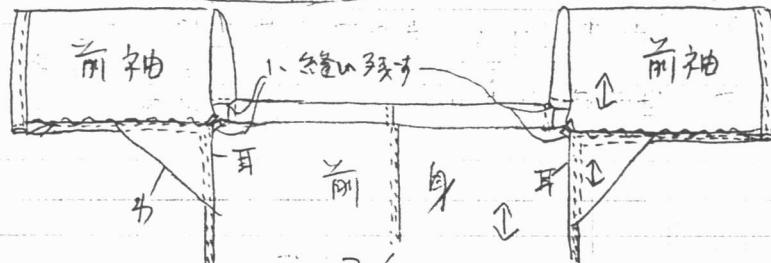
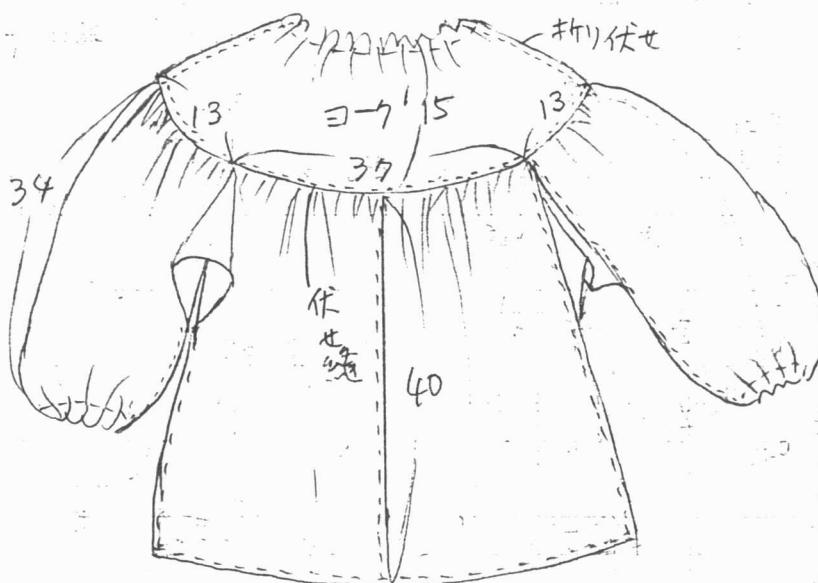


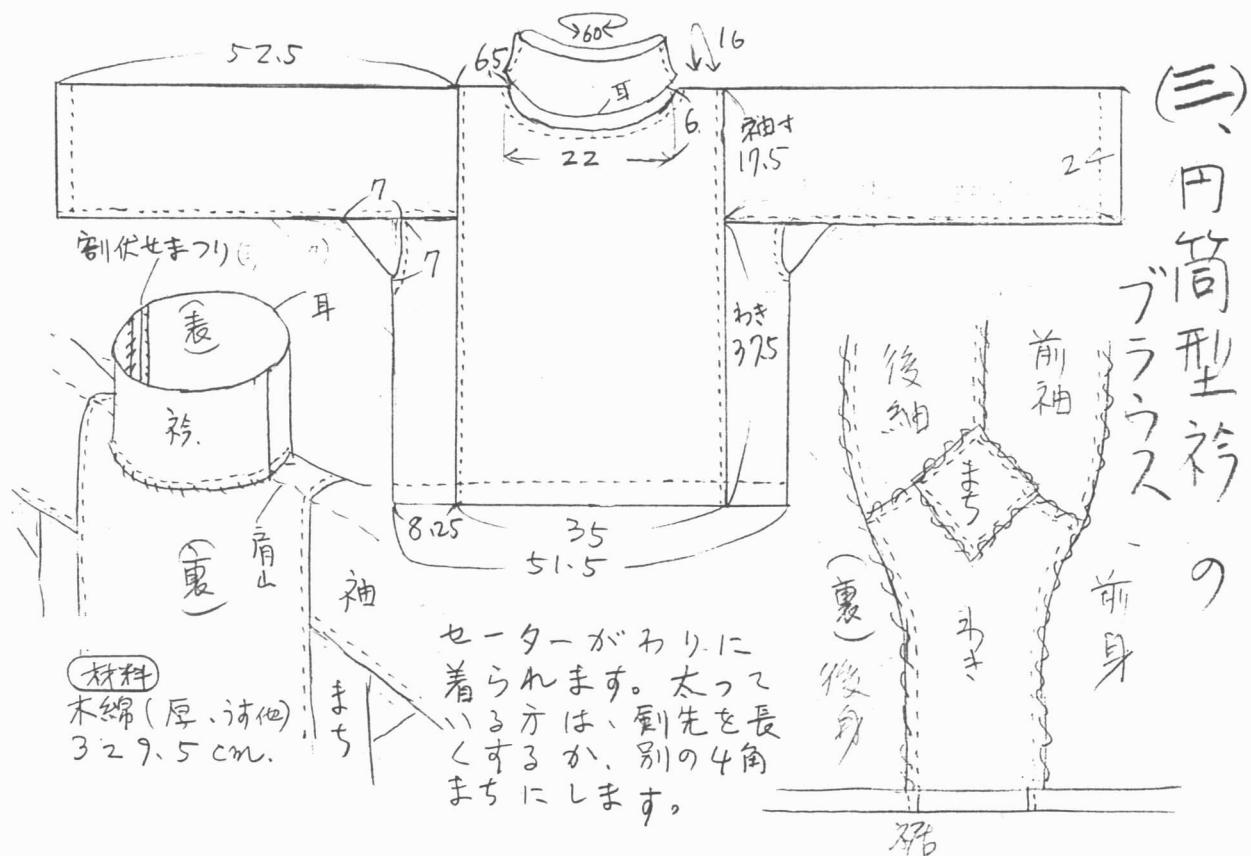
① 縫
② 中
央
付
合
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
袖上と下各ゴム口
袖下と袖上各ゴム口
通

袖元
1.5

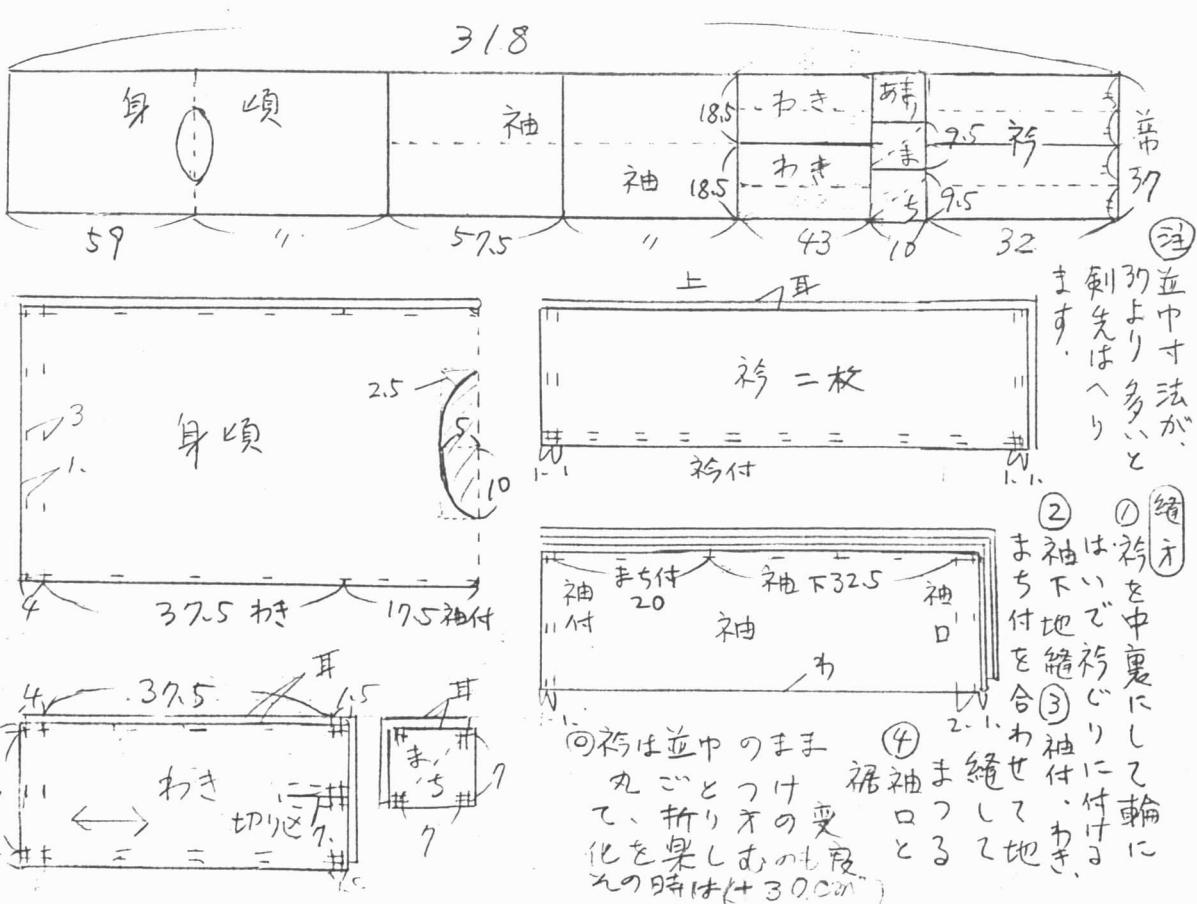
大物実物
ゴム口
裏

(二) ギヤーザーブラウス



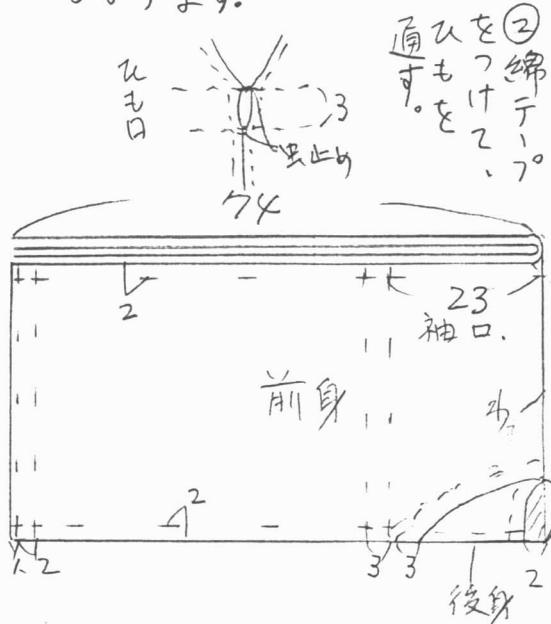


セーターがわりに
着られます。太って
いく方は、剝先を長
くするか、別の4角
まちにします。



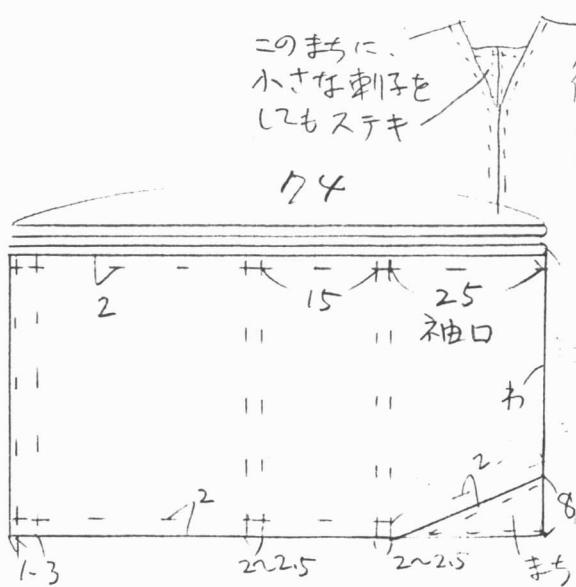
しほつたのみのブラウスは簡単で美しいですね。

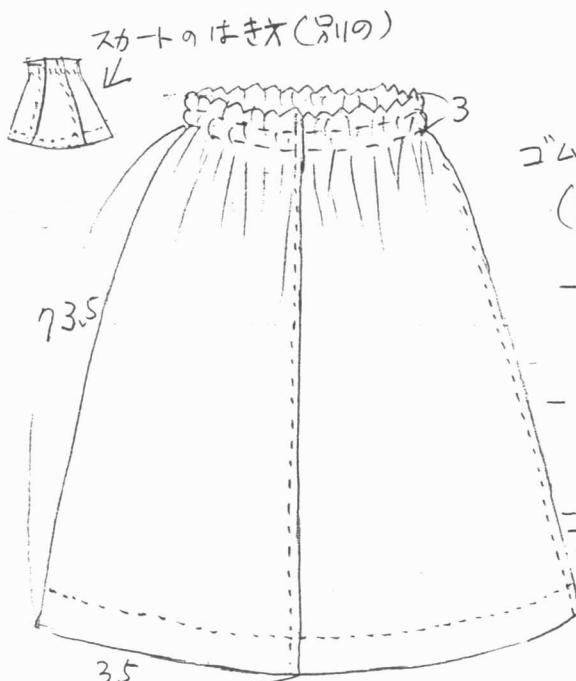
夏は冷たいサンドレスに、外の季節はポンチヨに。大きをコンゴにすれば、パーティ用にもなります。



ゴムを入れて、脇にリボンだけ結んでつけてます。

- ・ゴムの数をもつとふやしてもいいでしょう。
- ・ゴムは平ゴム(3ミリ巾位)

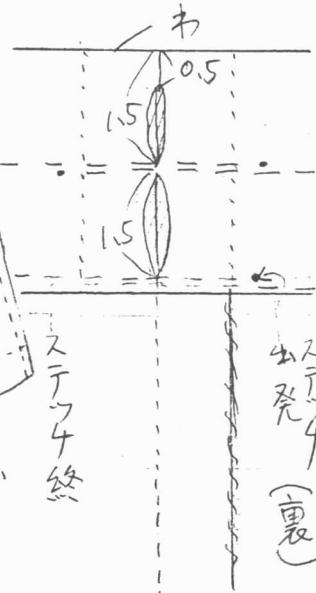




「今まで」もあきないフリーサイズの四枚はぎです。廻しながら好きに着られます。

三、スカート

ゴム直し口(実物大)
(1ヶ所のみ)

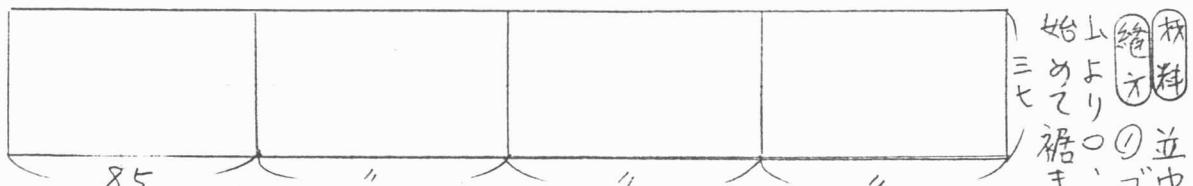


スカルト 基本型

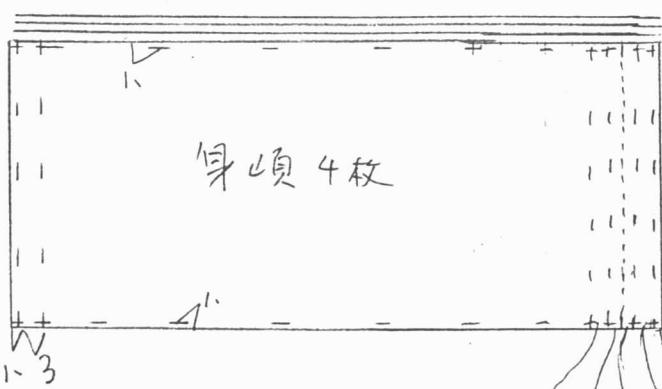
卷之二

4.5

-340-



85



身頃 4枚

⑨ゴムの本数、位置を変えるだけでモ

いいろあります

◎同じやうにさうして

向しゃりオモテ

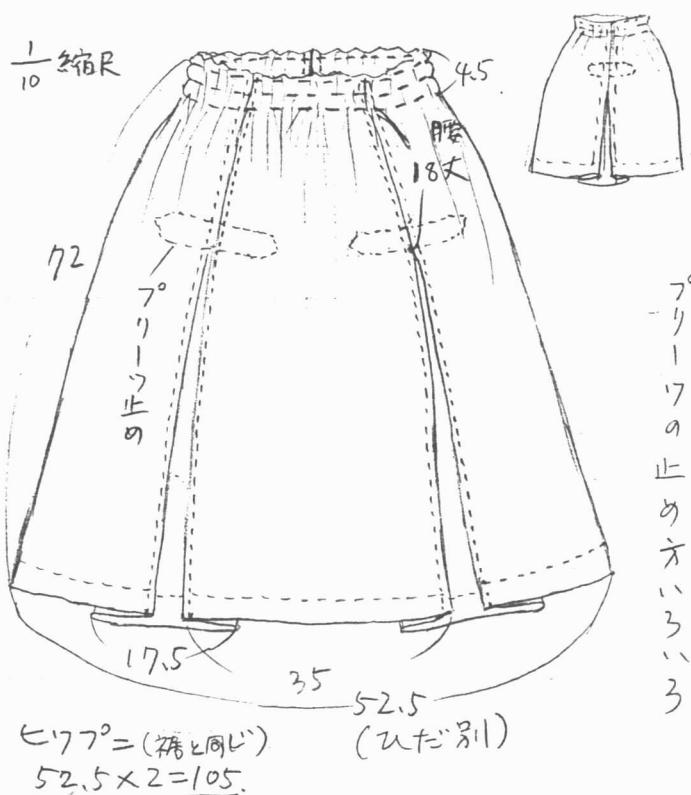
100-181-1

表分3、折(左-1)

ゴムで三四〇cm、七cm巾平ゴム七〇cmまで五cm通し口をつくるため、中央折りよで地縫②ゴム通し口をまつり、そこのまま下までまつる③あと身頃のままで全部右上(自分からサセに)に伏せてまつる④ 実物大のようゴム口をステラ4。ゴムを三等分

⑤
⑥

4 来ます。



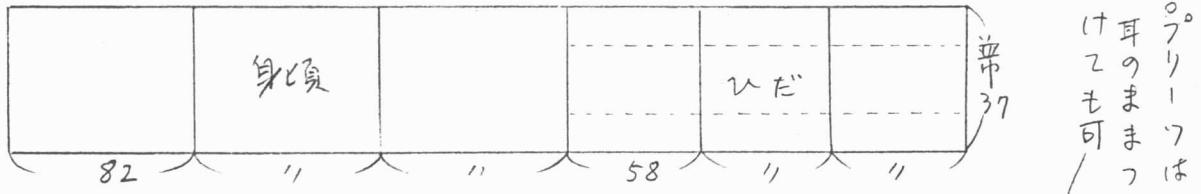
$$777^{\circ} = (\text{複数同じ})$$

(二十二)

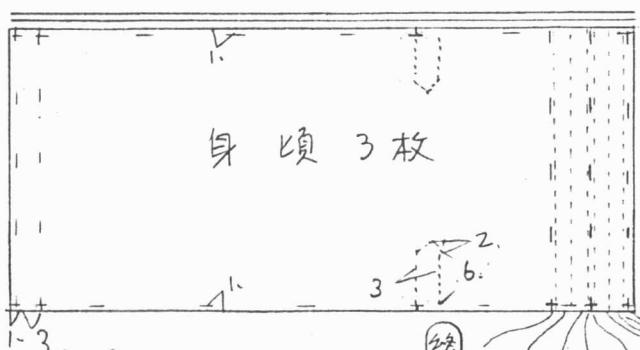
$$52.5 \times 2 = \underline{105}$$

前ひだ二つ、後ひだ一つ、
自由に二つ、原則として
この二つは、必ず、
前ひだ二つ、後ひだ一つ、
の順序で、並んで、
左側に、二つ、右側に、
一つ、の形で、記入する。
（二）三布の手形

- 420 -



身頃 3枚



總
元 0.5. 2. 2. 0.5↑0.5. 2. 2. 0.5.
十五 中

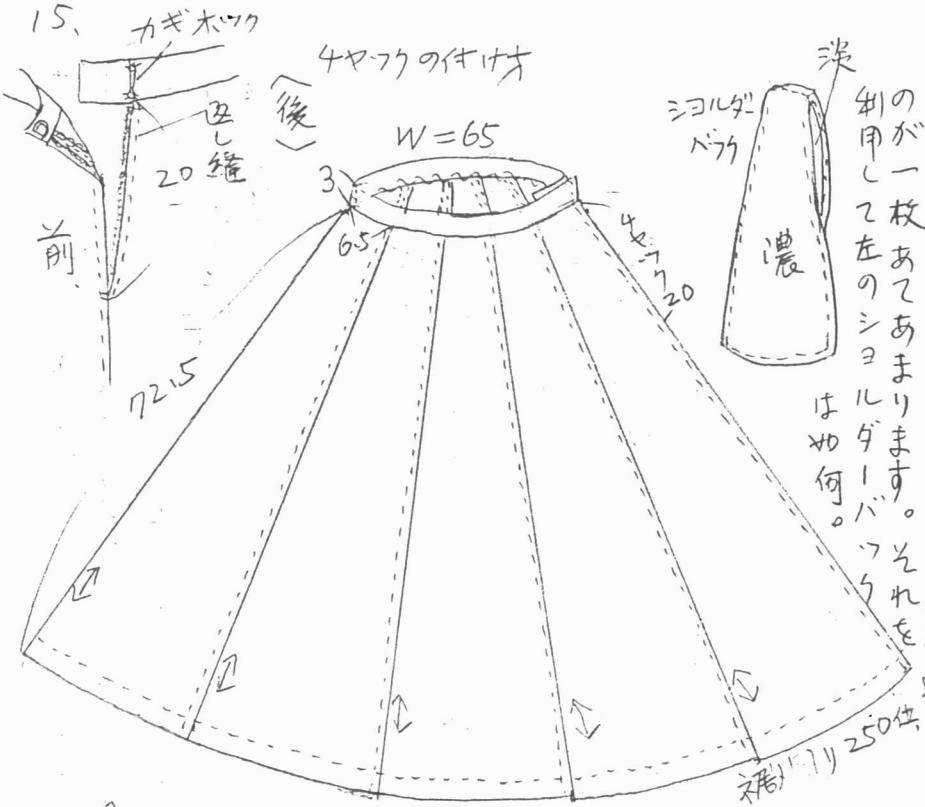
種類 直巾で420cm.
平ゴム 150枚(0.7巾)

② フリーフのつけ方は
→ ロングドレスの項参照

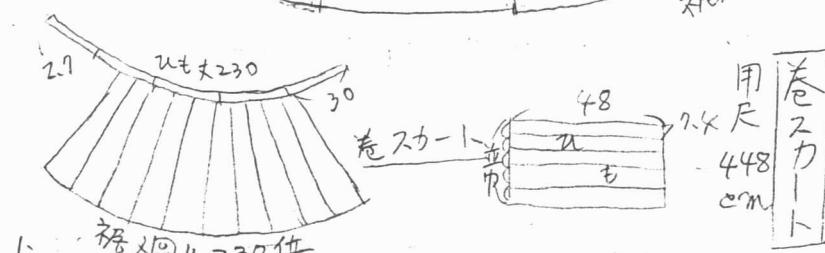
③ ウエストはギャザースカート
→ 参照

手
(一)
7.

(三) 十枚はギ一(五布)



並んで、こんなに美しい裾が3スカート
出来ます。耳を利用して一枚の縫代のみで、ほか
う。その場合布が一色につき三布要り、切
つたのが一枚あてあります。それを250枚



0.2 ずらす

ベルト ちと ます 活(アキラ)手前上の重(シモウノヒヂマツ)が部(ヒラフ)よほ 単純(タンドン)繋(ツブシ)

だはげばよ
千純に考へて真違ひに
のほどく破目になる
よく死ります。そ
前にして細い穴が
重ねて足して行く
四、五枚づつはいざ
すると、どうかかいざ
すすめます。(三)

$L-W+2=8.5$ がでニ右、れニ、
全とに裁は、と全
 $65)$

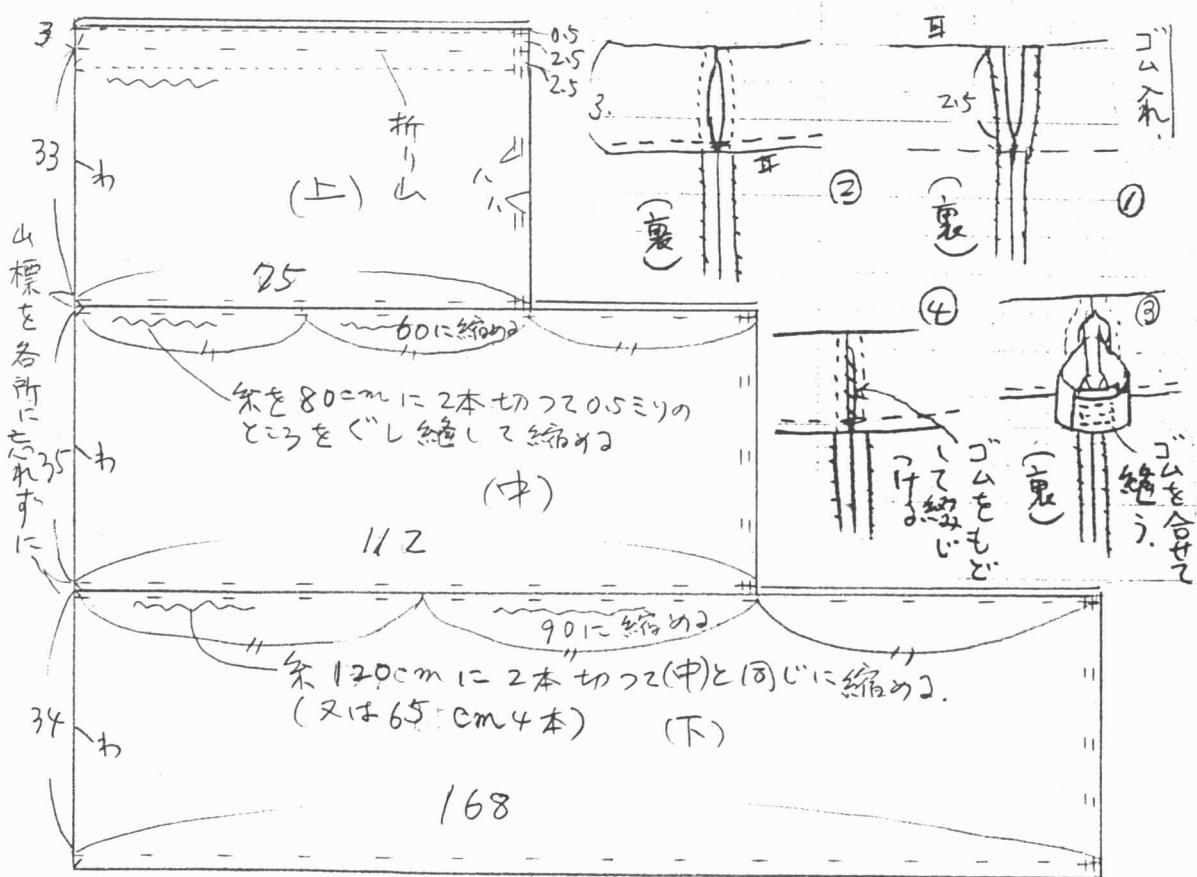
綻(2)に輪(1)
縫(1)に輪(1)
縫(1)に輪(1)

102



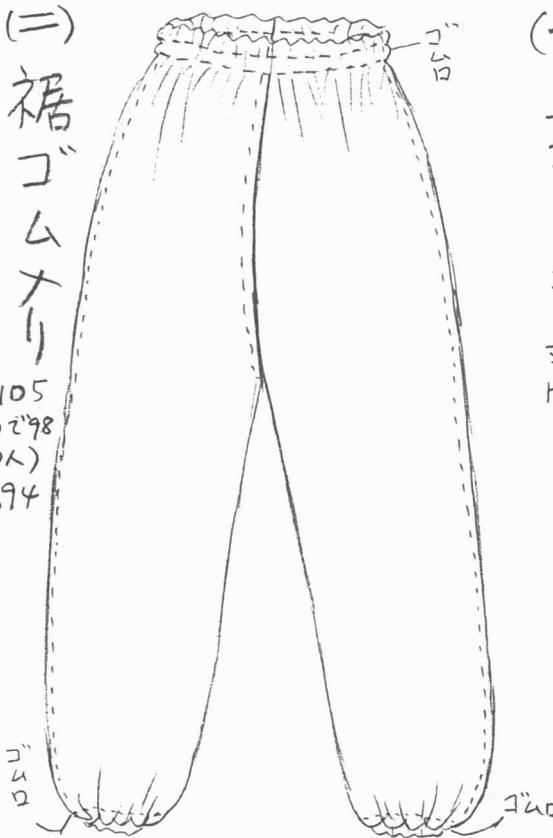
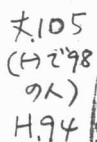
(四) 三布の横はキ

優美なロングのスカートです。
② 応用の上二枚のサリ丈： 六七
cm までの胸まで、上げて着る。(サンドレス)



17.

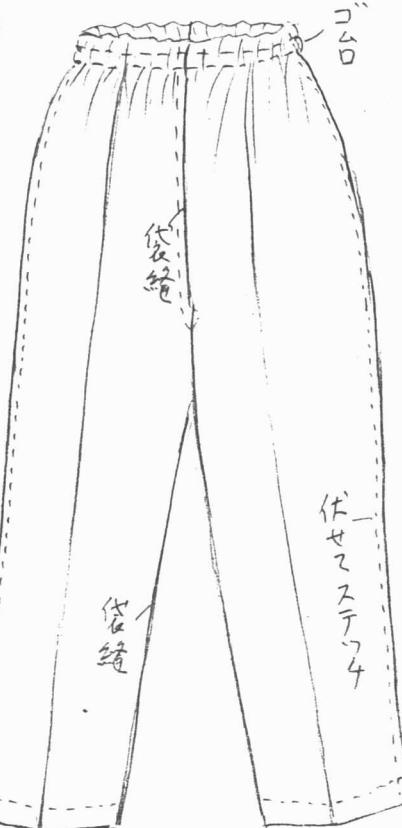
(二) 補ゴムナリ



(一)

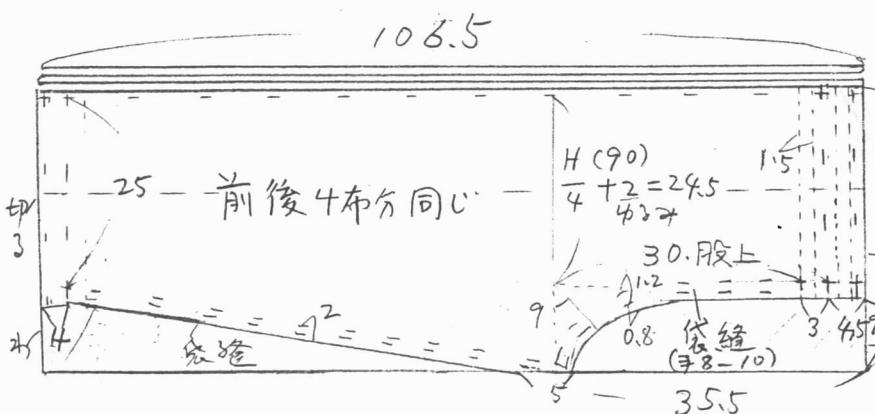
基本形

丈、98
H 90



四、スラフクス

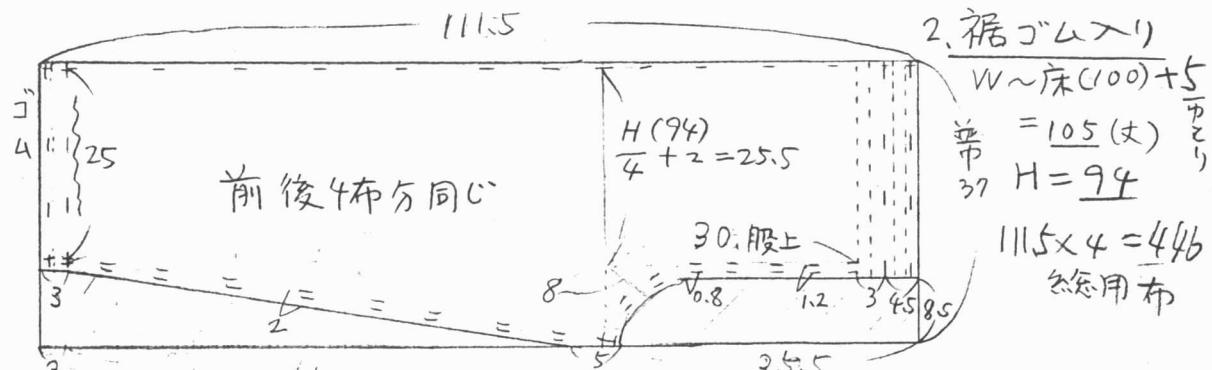
手(一) 8



1. 基本型

$$\begin{aligned}W &\sim \text{均}(100) - 2 \\&= 98 (\text{丈}) \\H &= 90\end{aligned}$$

$$106.5 \times 4 = 426$$



2. 裾ゴム入り

$$W \sim \text{床}(100) + 5 \frac{\text{千}}{\text{日}}$$

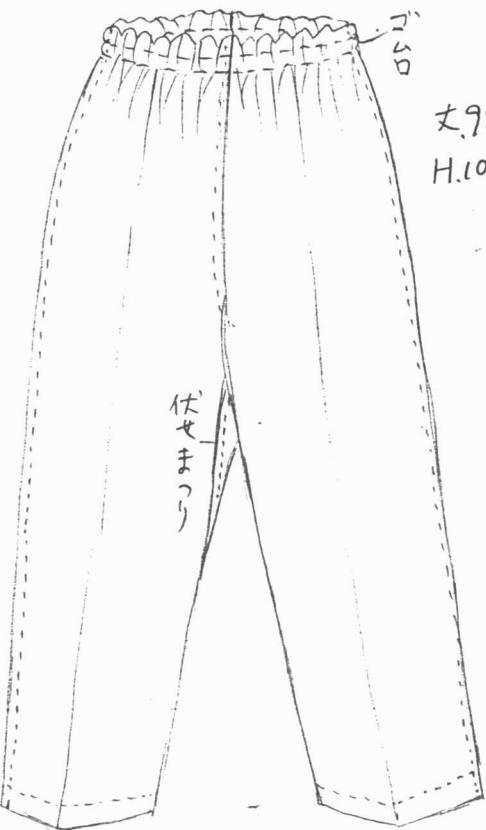
弟 = 105 (才)
37 H = 94

$$111.5 \times 4 = 446$$

(注) 4布を屏風だたみにして、全部裁ち落してより、上、下を切りはなすこと。
(長い3枚り布が出来るので)

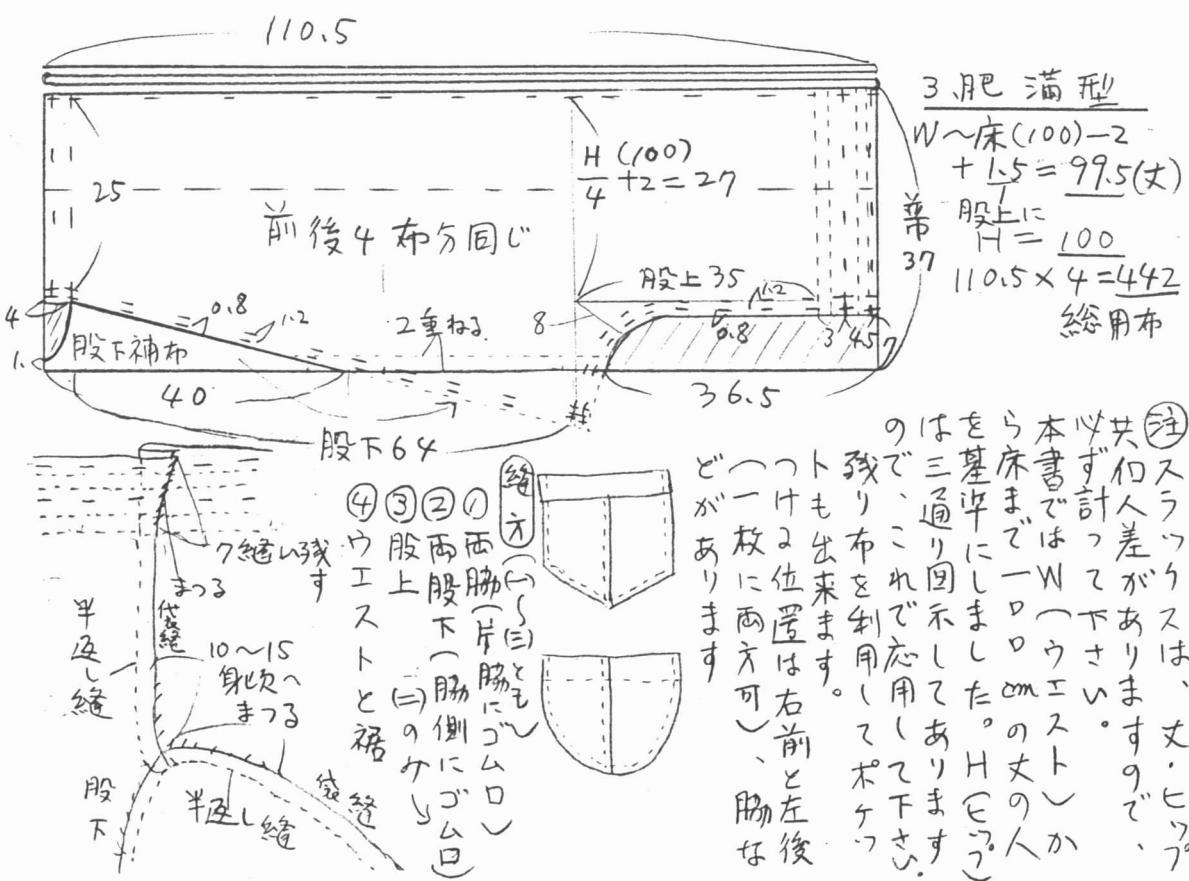
(三) 股上に足首の落し
下の落し分から
股満型

(股下に足首の落しき足して腰を広く致します。上り落し分からもこれます。



後も前もないスラックス三足です。実際に著者はじめたくさんの人つくりはきましたが、とても工合のよいものです。
⑦ 褶巾は流行につれ變りますが、この三足は、何時でもはける形でしょ。

一。広くしたい時は足元を並巾一はい可能です。
シヨウは、股下を並巾でおろして、ほしい
丈に切れれば出来ます



19

(35)

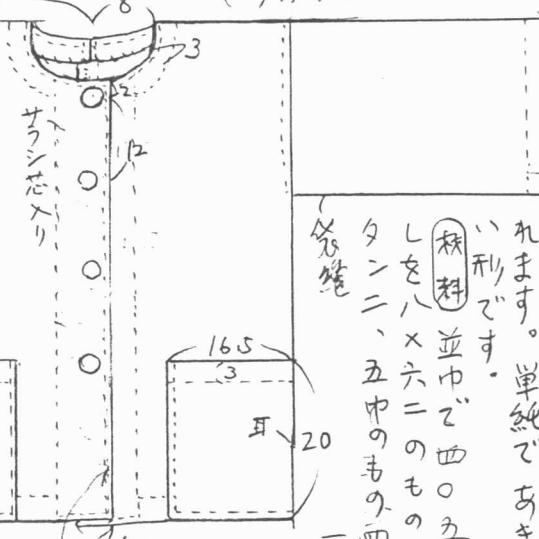
26

() 内はしすみ

33

1/2 (筒袖) 23

方① ポケツトを縫つてつけ
方② 脇を素縫③ 袖をつくつてつける
前立にサラシ芯を重ねて縫う、
袖は身頃、脇は後へ伏せてステップ
にステップ見返しを全部つなぐ
衿ぐりを縫ひ前立て、衿ぐりを縫う
木ツク
木タン



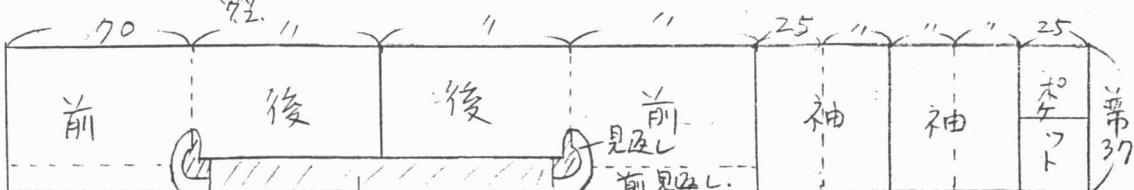
五、ジヤケト

上着としても、コートと、こも着られます。単純であります。利用度の高

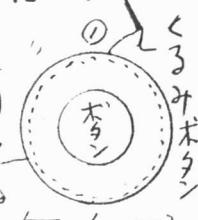
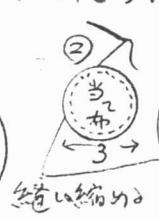
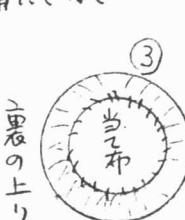
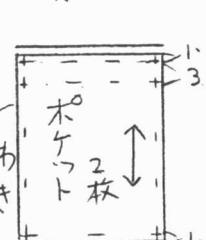
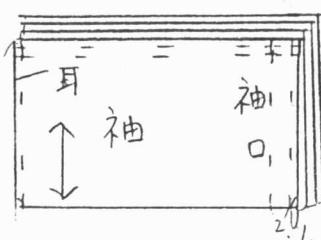
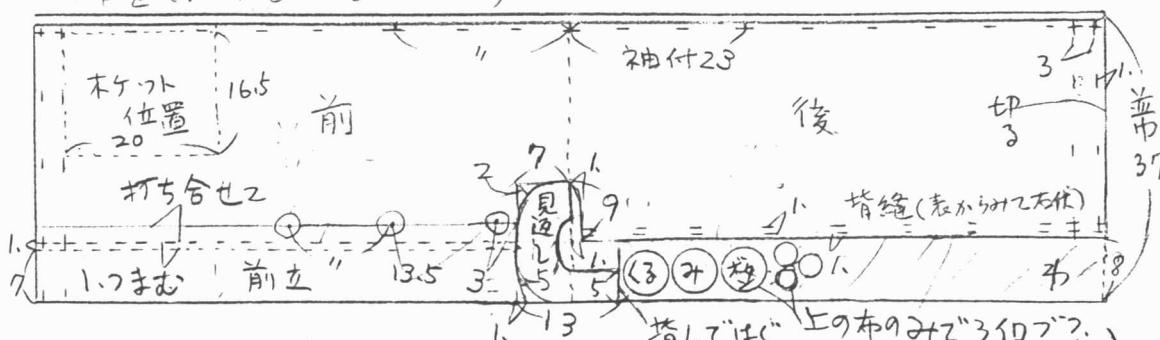
L判完成品

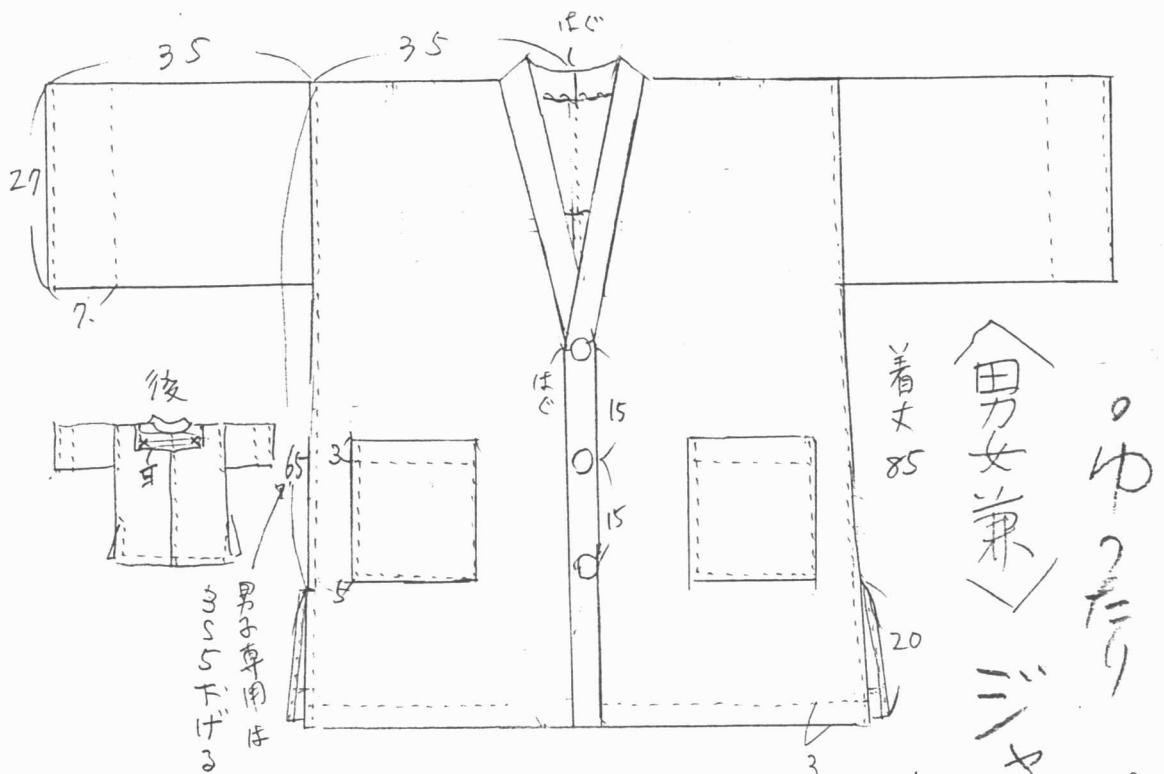


80	2.5	80	背筋	29↑29↑	116	25	L半裁
(前) 37	0 0 0	10 4 3 1	袖	10 身延し 12 袖口	5 31	木 フク	577 (半板裁)

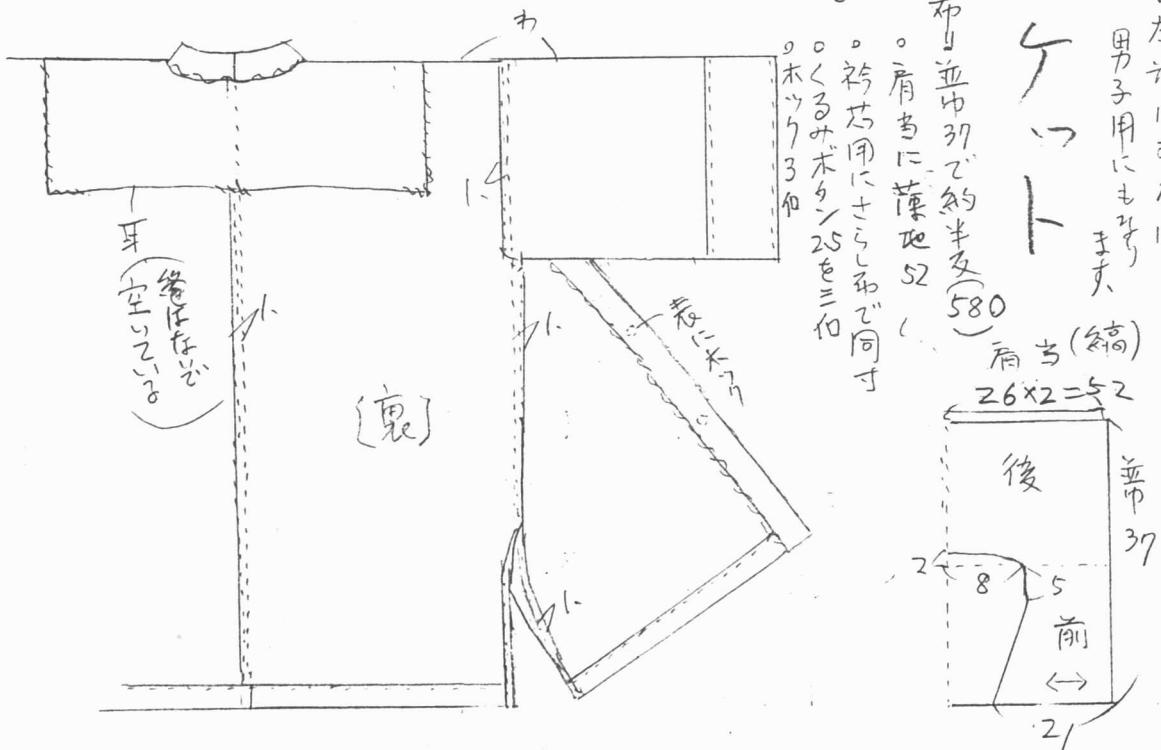


くるみボタンを別色にして、← 405 →
この布をベルトにしても良い(1はい)

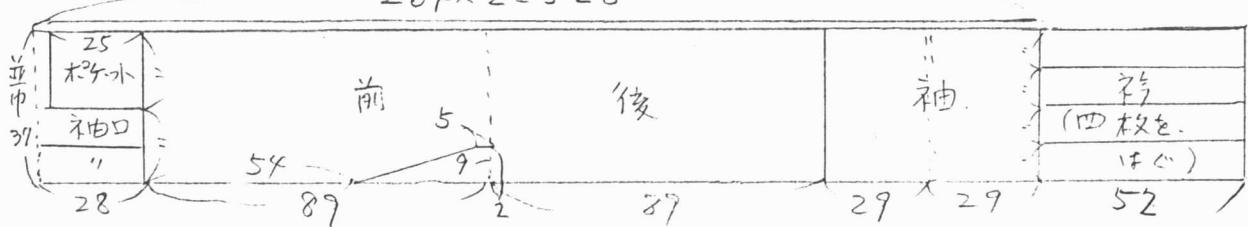


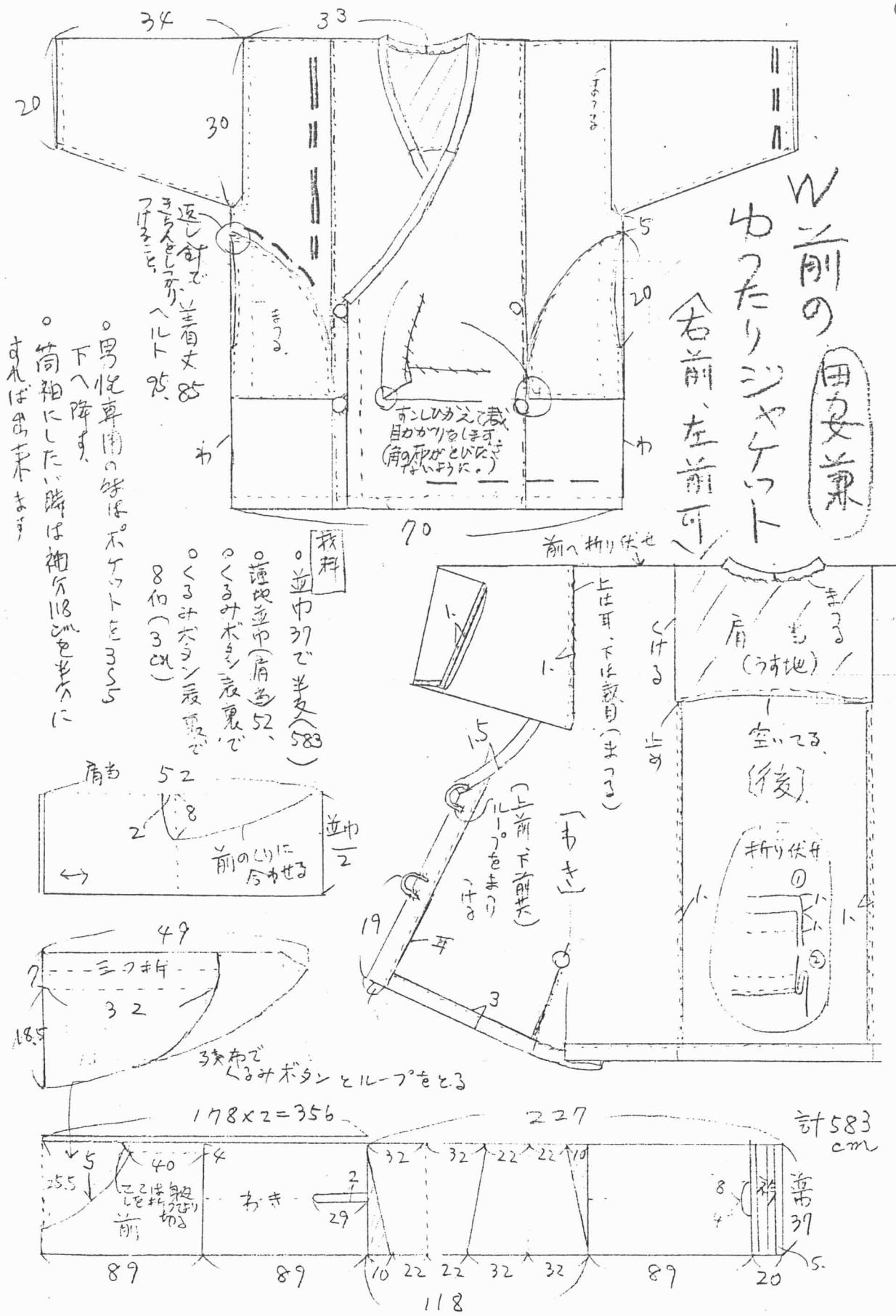


。左前 にすれは
男子用にも
また



$$264 \times 2 = 528$$





4/17. 12. 19. 订正

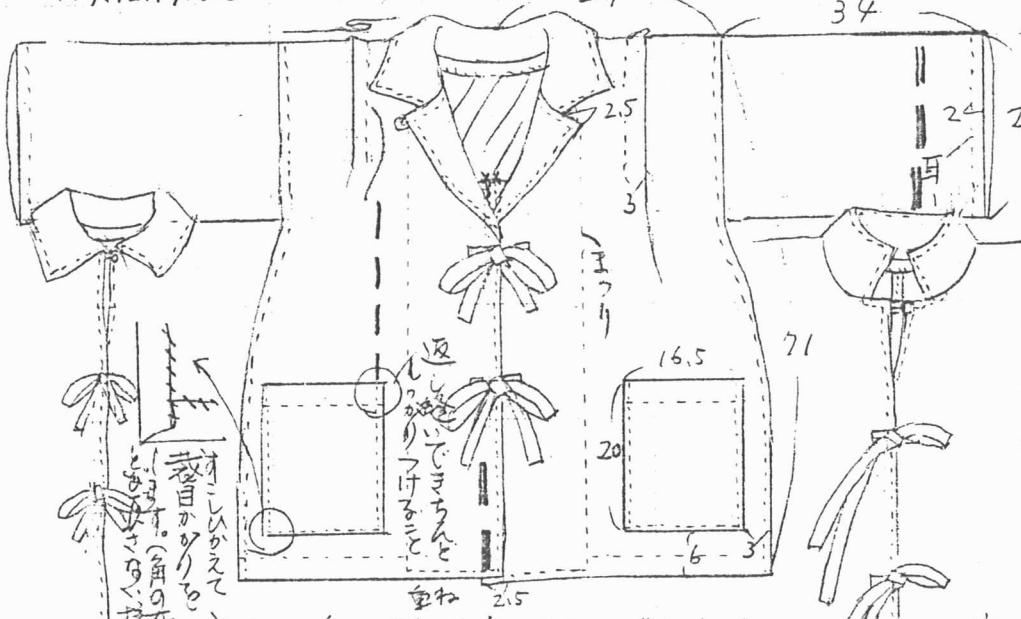
22

417.12.17.改正

ת-ל-ט

29

34



○ ジヤウ袴のひも結び
— ジヤウケート

父の別色布
をつけて刺し
子も良いで。
しよう。袴、ボ
ーケットの別布も良。

変化の多い形です。胸にベルトも
し、よへでしよう。貴女のウキ丈に合
わせて、あげを加減しましょう。
この袖は太っている人には、きつかもあかり
ません。その時は筒袖か、この袖山に7×45(裁せ)

1.6 微米

Diagram 3 shows a curved line with a point labeled "アモ". A label "まつり付け" is positioned above the curve.

前	後	後	前	袖	袖	12	身返し	木	木
							云	七	外
						12	身返し	袴	袴

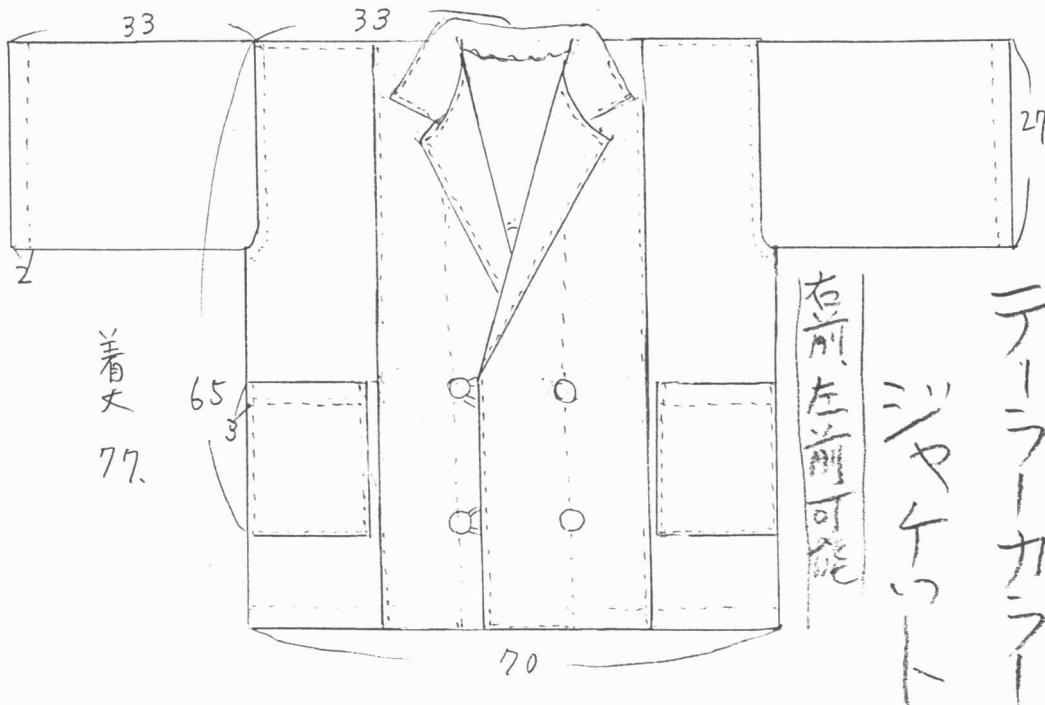
立中で五三三
さうして公用に前後の見返
し分(耳付)一ひとボタン二個木立二個

This technical drawing illustrates a garment pattern, likely for a top or dress. It features two main pieces: a front piece labeled '前身' (F) and a back piece labeled '後身' (B). The front piece has a total width of 75 and a height of 165. The back piece has a total width of 19 and a height of 165. The pattern includes several internal lines and dashed lines indicating fold lines and seam positions. Annotations such as '身頃' (body part), '袖付' (sleeve attachment), '肩当' (shoulder support), and '耳' (ear) are present. A small diagram at the bottom shows a circle with a radius of 15.5.

12 71. (まかのう) 前立の見返し二枚 2.5
71. - - - - - 71. 19
祐ぐりは身頃の下に
揃えて裁つ。 8

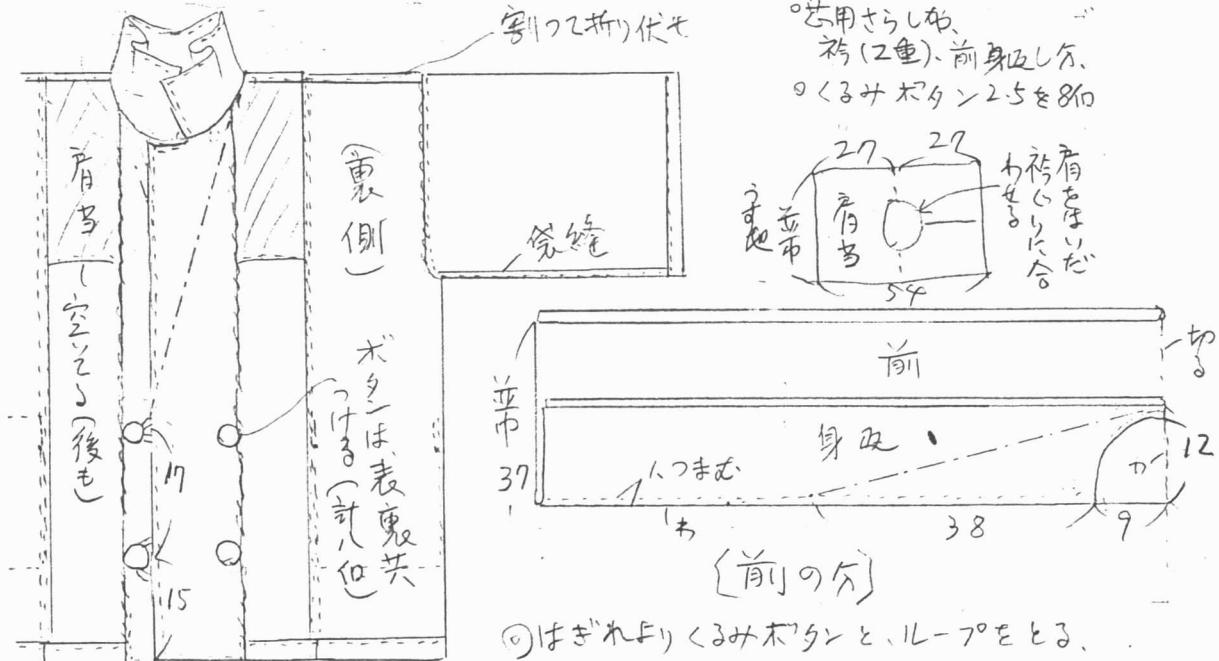
Diagram illustrating the dimensions and mounting points for a rearview mirror assembly. The assembly is shown with a base plate and a mirror glass. Key dimensions labeled include:

- Width: 11.5
- Height: 10
- Base plate thickness: 2
- Mounting holes: 4 (top-left, top-right, bottom-left, bottom-right)
- Base plate width: 4
- Base plate height: 2

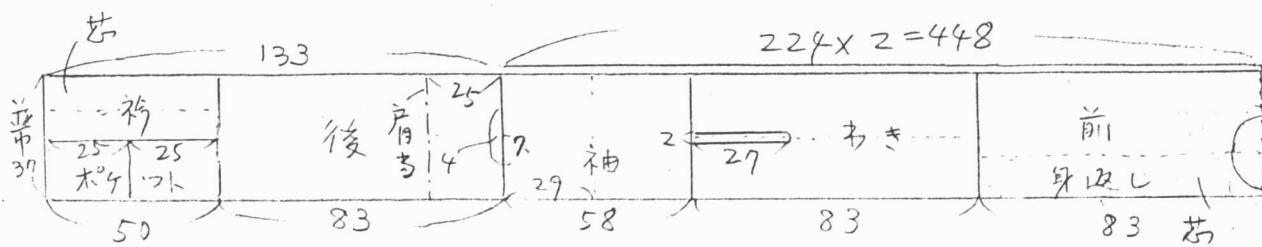


布並巾372" 581
(半支)

- 芥用さらし布
袴(2重)、前身透し分、
○ くるみボタン25ヶ80円



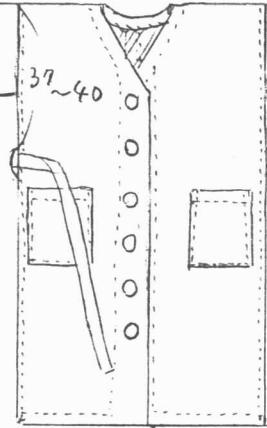
④はぎれよりくみ木ボタンと、ル-7°をとる。



25.

材料 厚地で七二七cm、
くろサボタン三面と中
ナ、わやかです。

方 基本型に大体同じ
です。



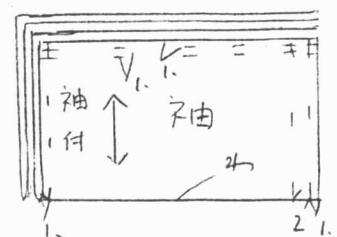
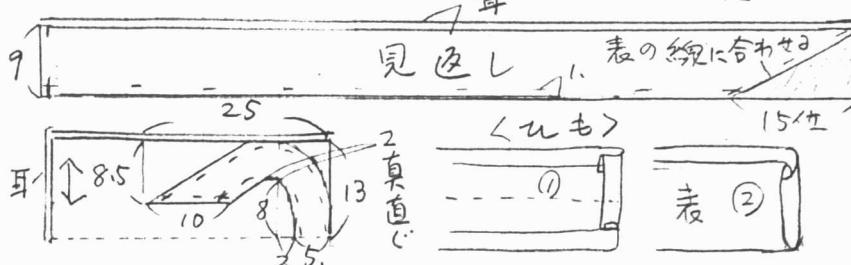
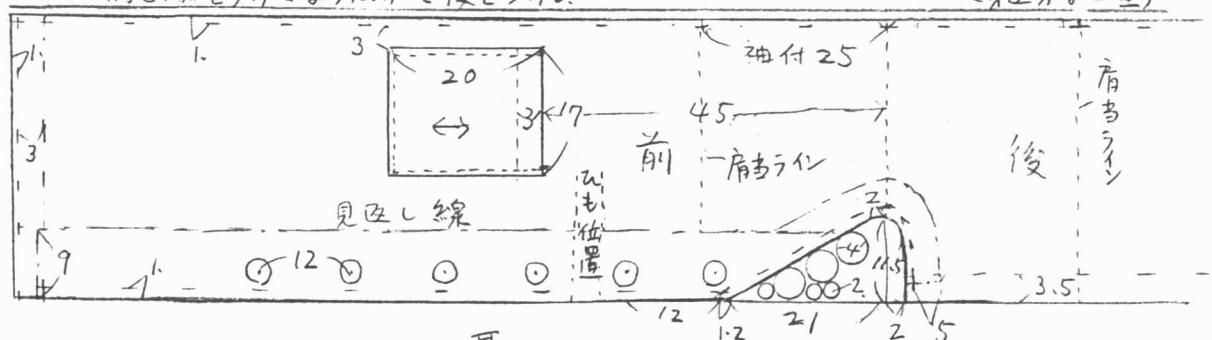
前明キ、トレス
とてても着
られます。

六、七

基本型

115	"	"	"	27	"	"	108	25
前	後	後	前	袖	袖	見返し	木	後見返し

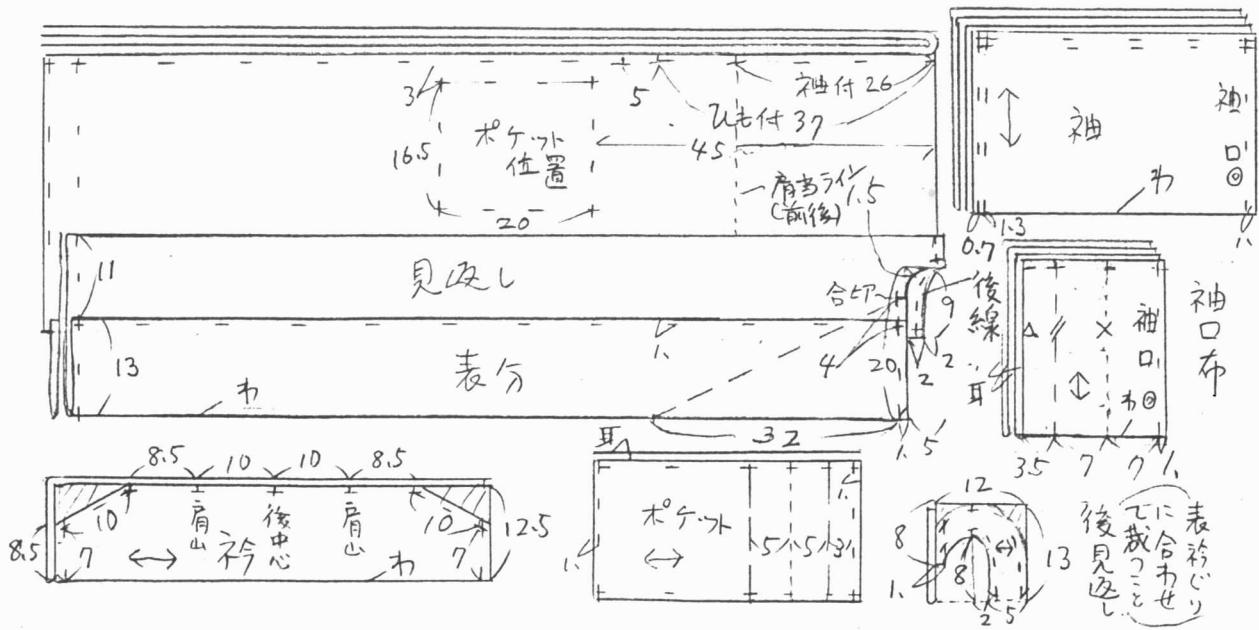
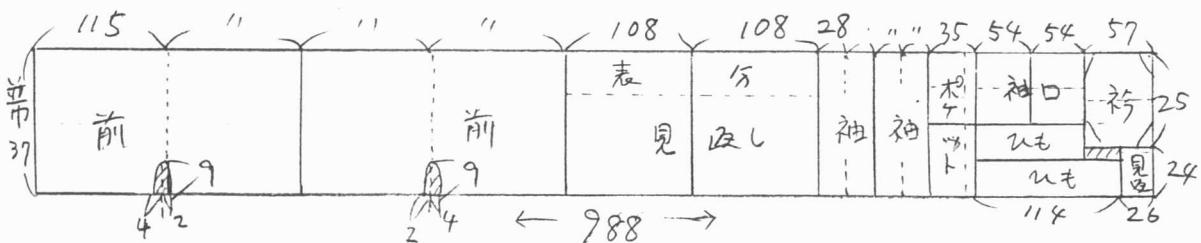
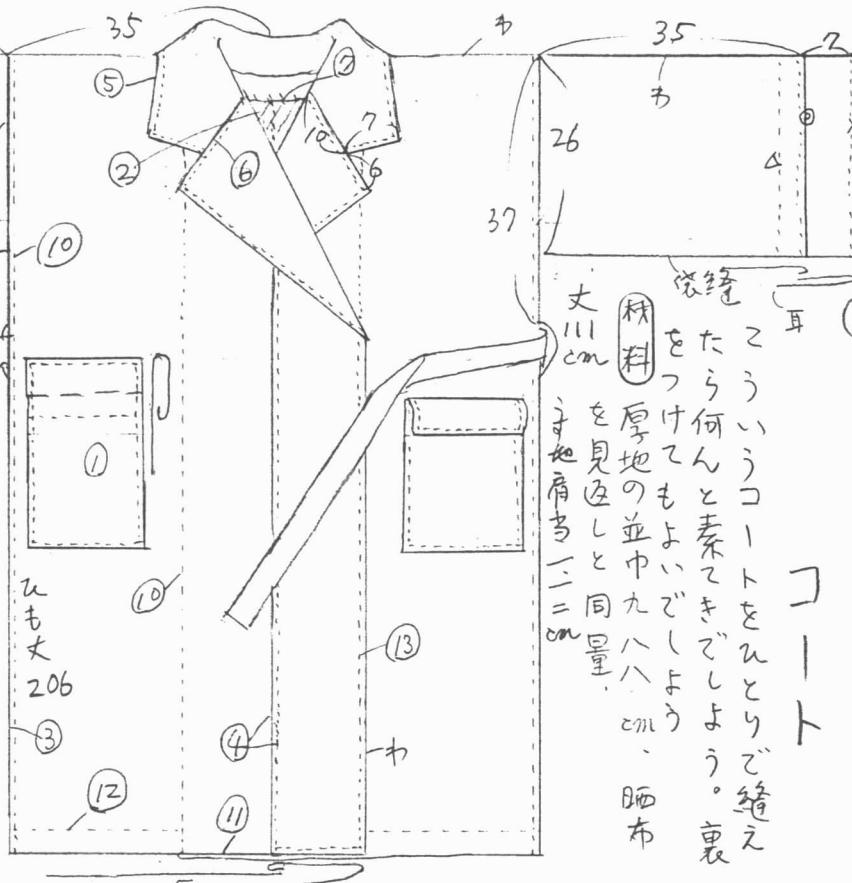
標付布を(肩)にたたんで、裾と脇をフケてより広げて後をつけ。 ← 727 → ②肩当は、身のえりと同じ、(身受けニ重)

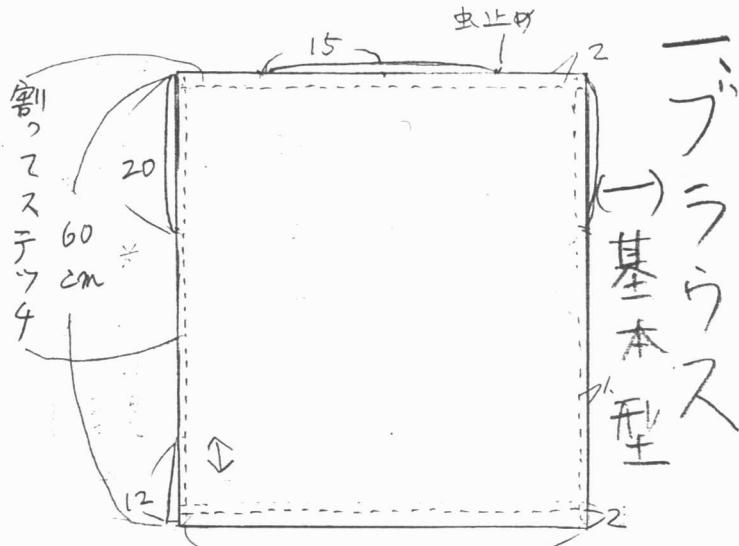


26.

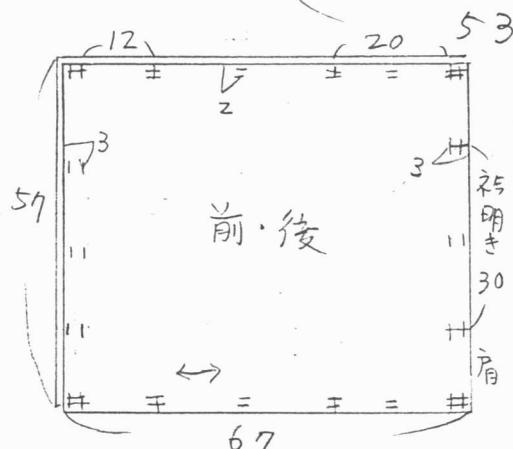
(二) 開衿の着易いコート

番号は縫順であります。
前から見えます。袖口のジヤケット参照下さ
り裏へ回して下さり表布をつけて方
にえをつけて下さり表布をつけて方
より裏へ回してまつります。

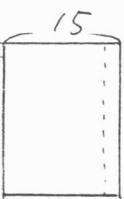
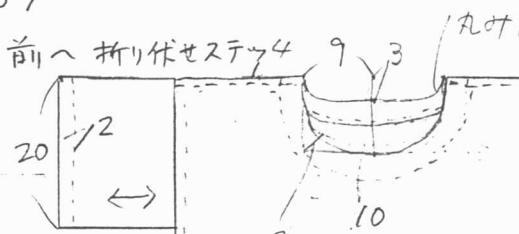
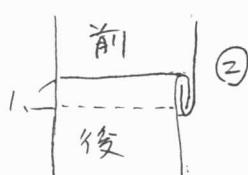
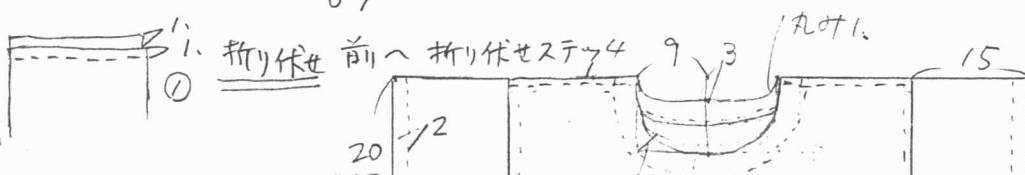




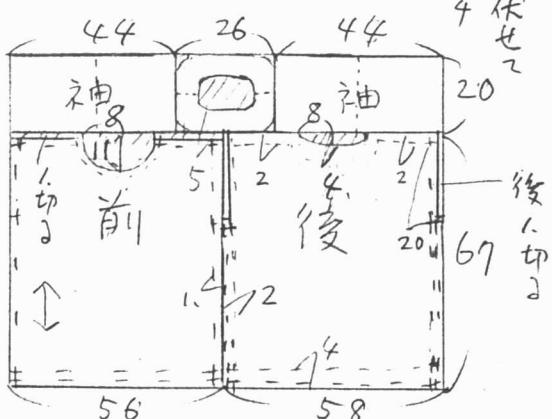
広中編
1及を洗入
114×466



左つた六七八cmで
出来の貴女のブ
ラウス。前も後
もなく、ポン4
ヨとしても着ら
れます。

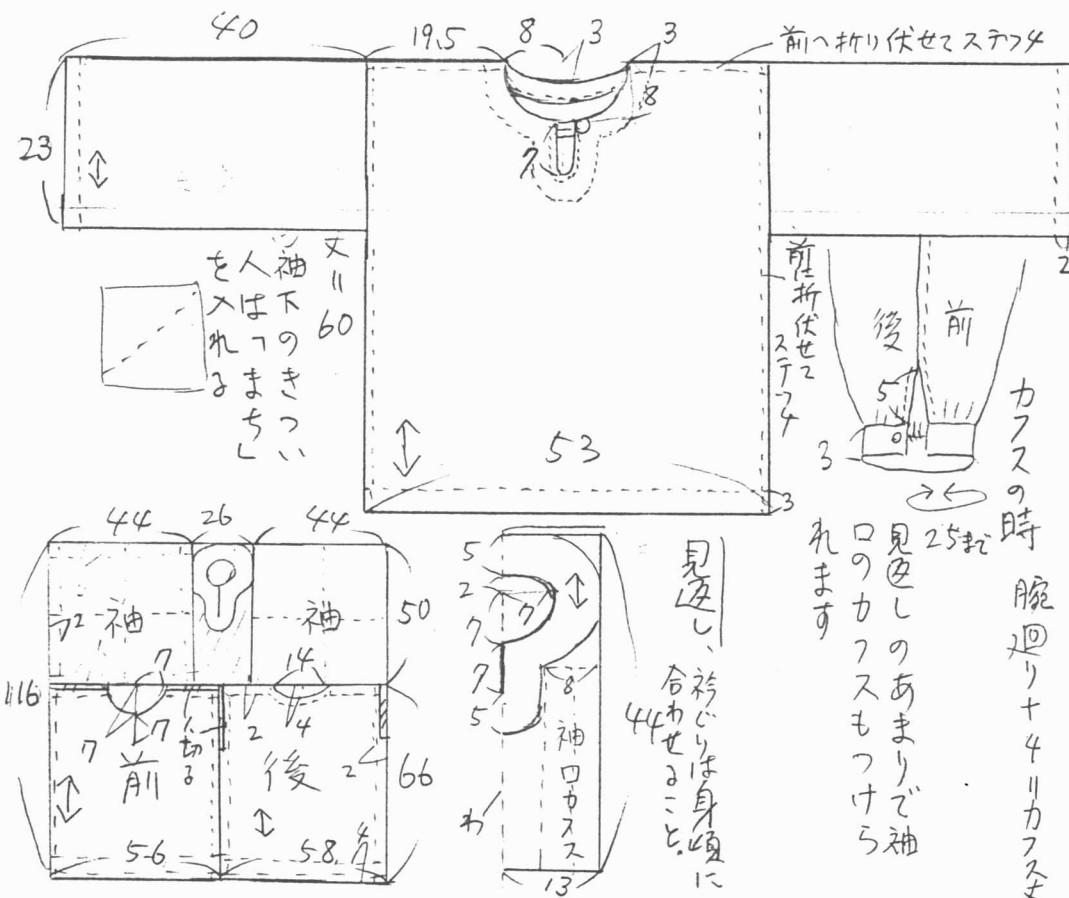


一一、半袖グラウス

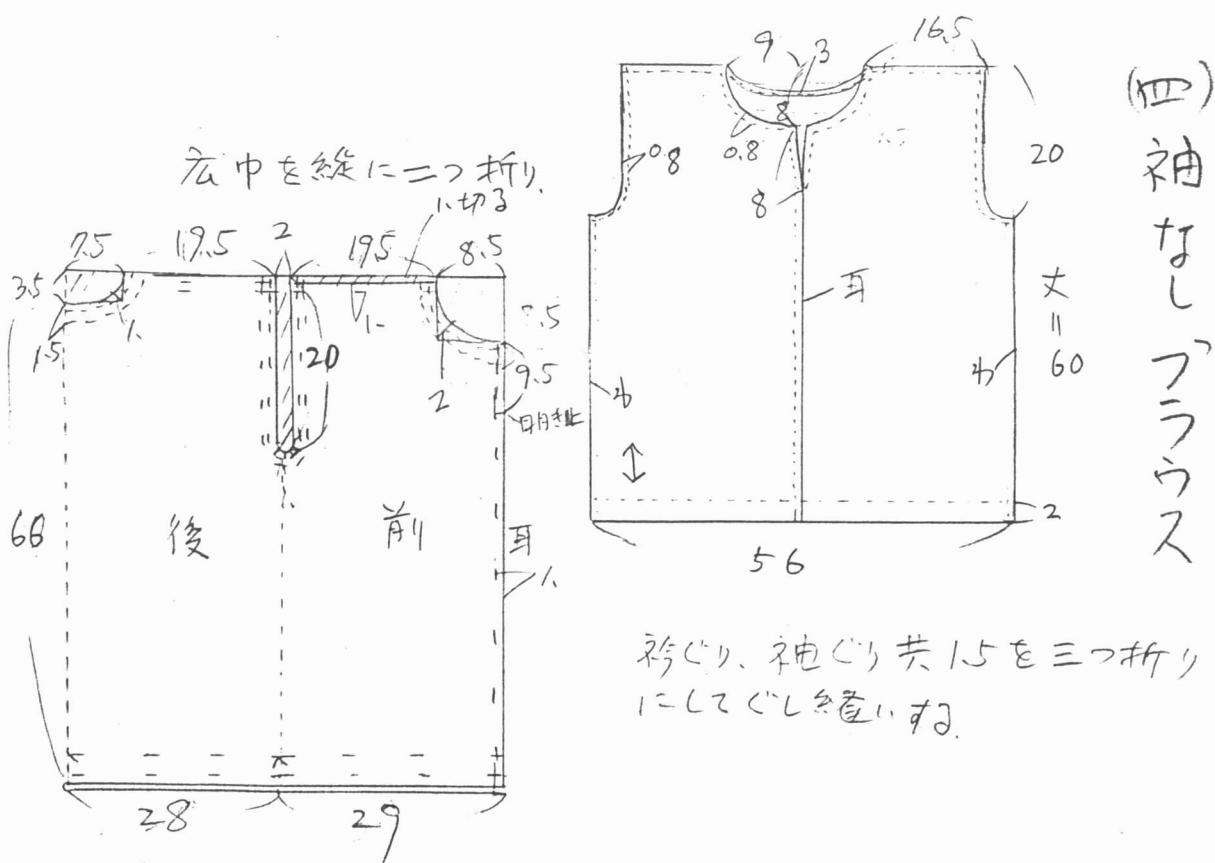


注

が
あ
り
ま
す

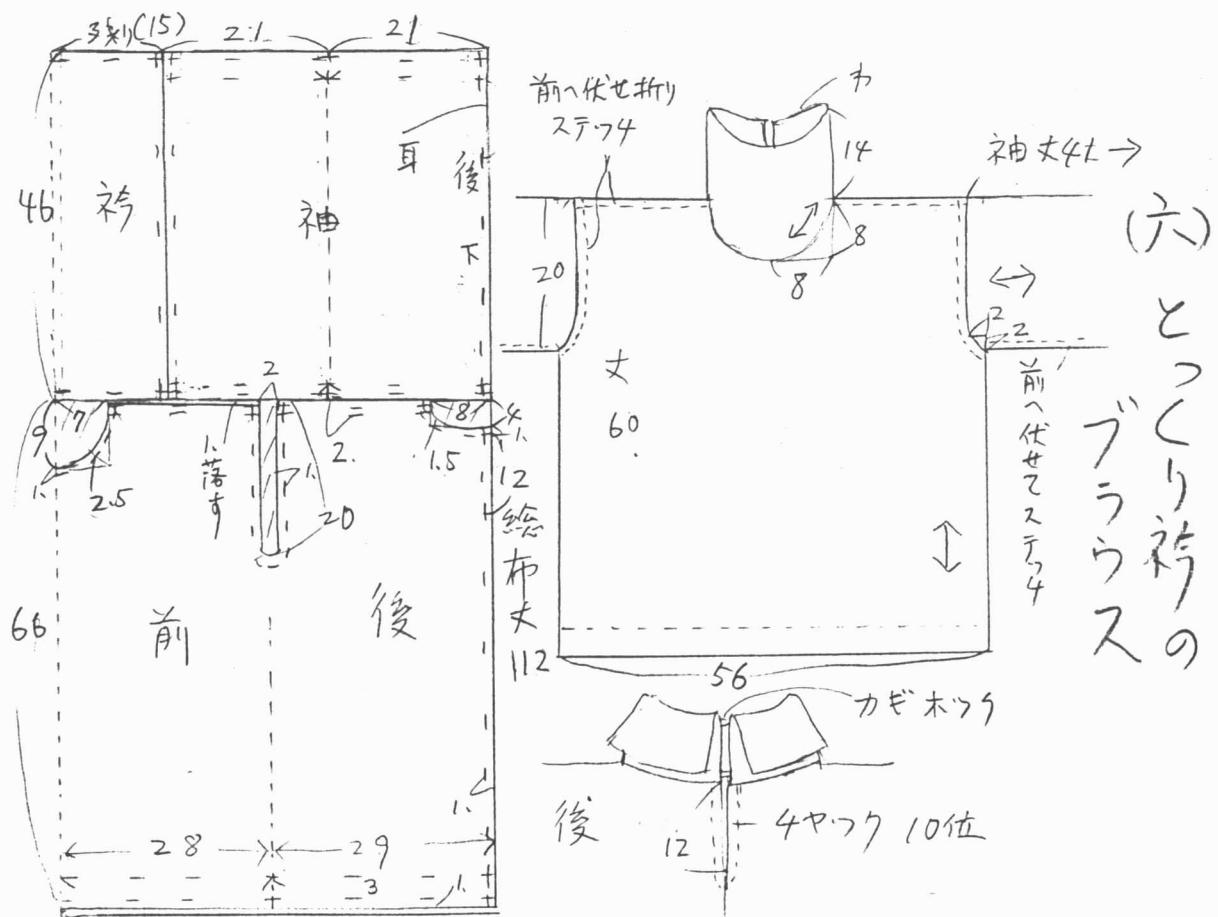
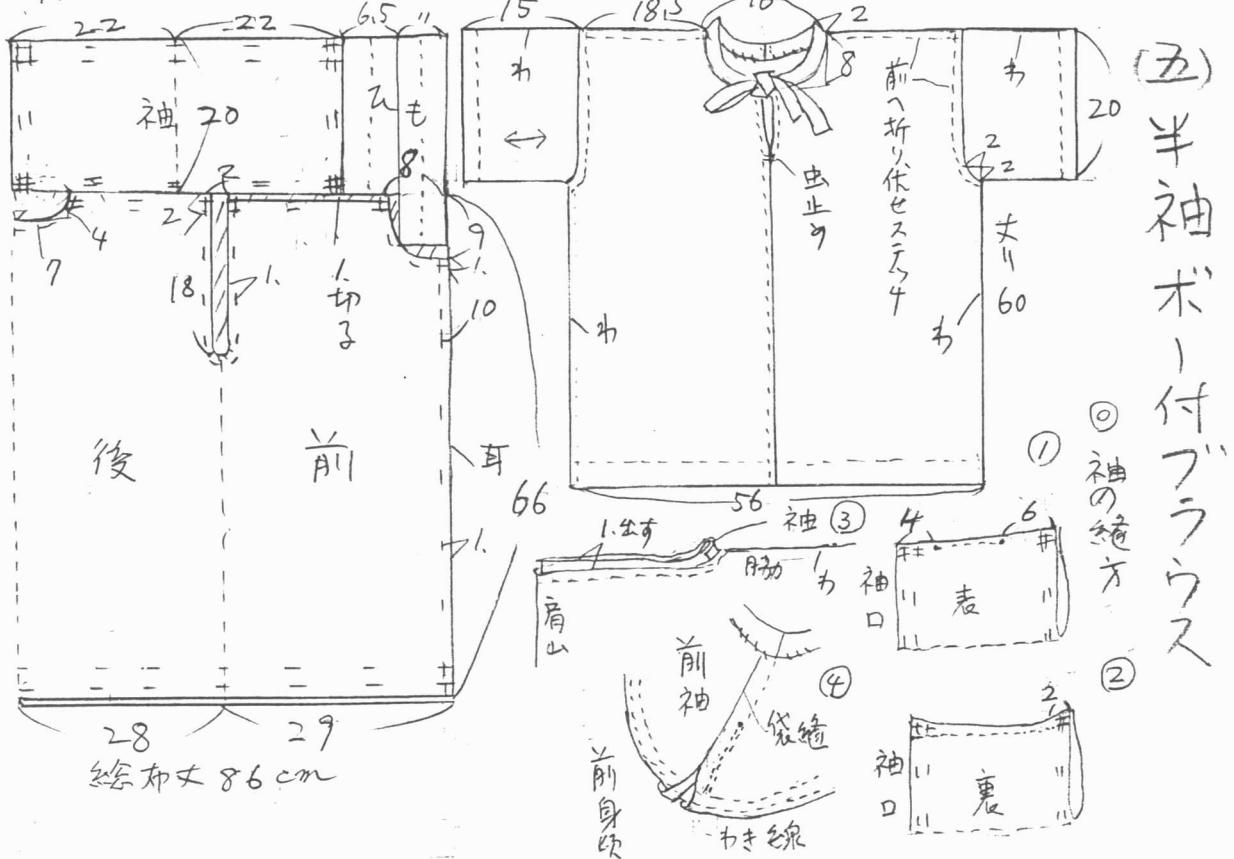


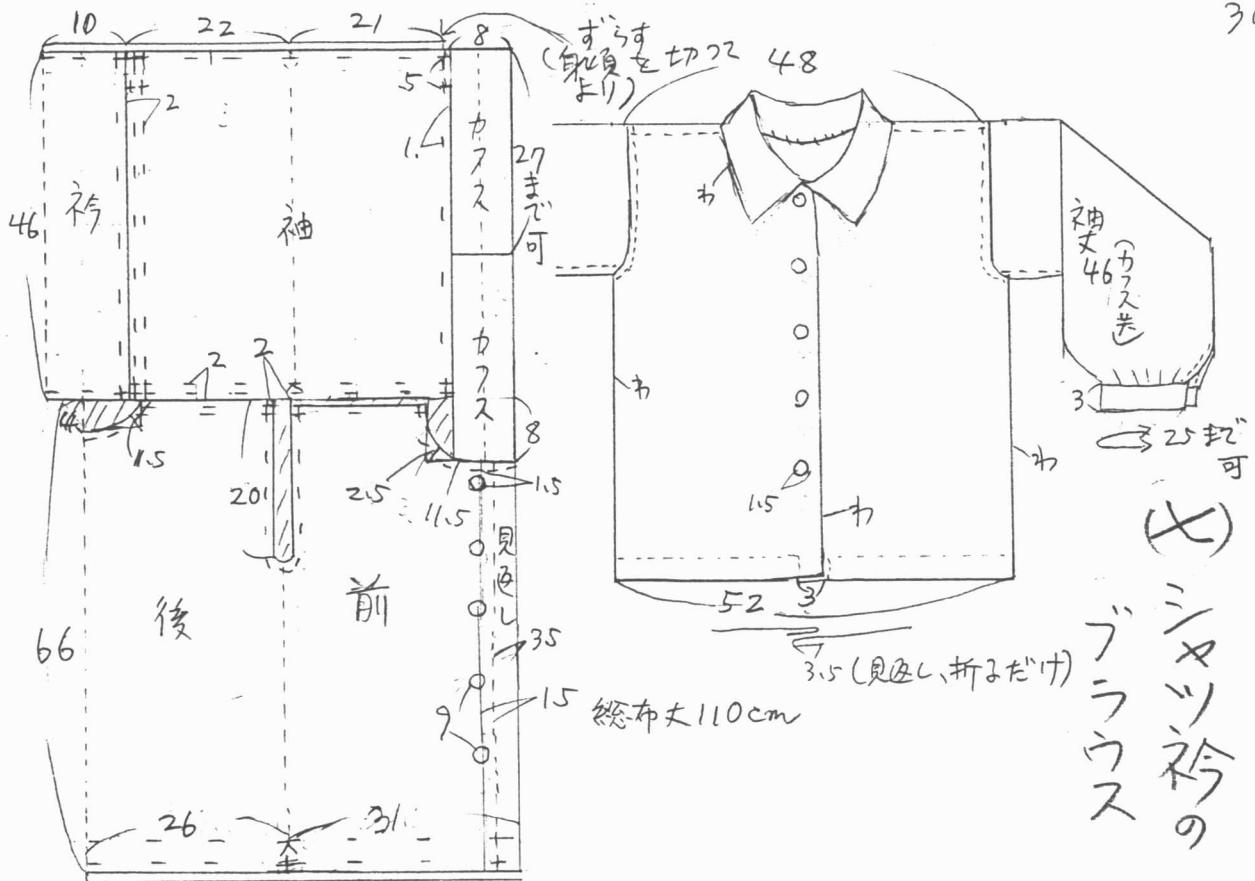
(三) 長袖ブラウス



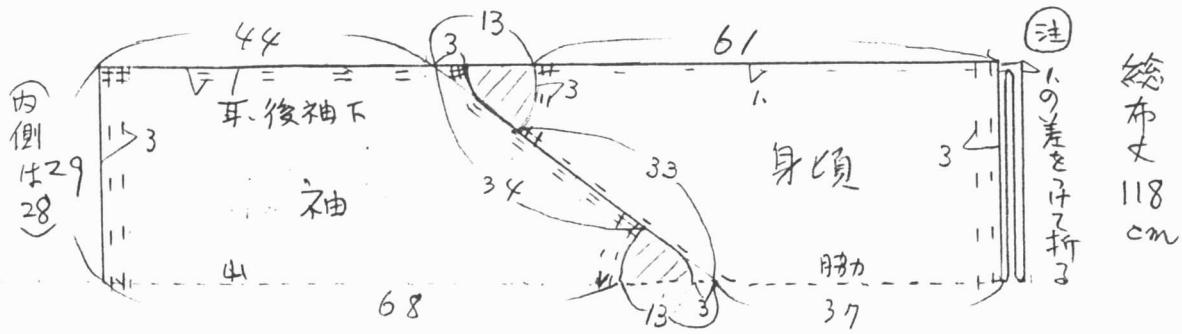
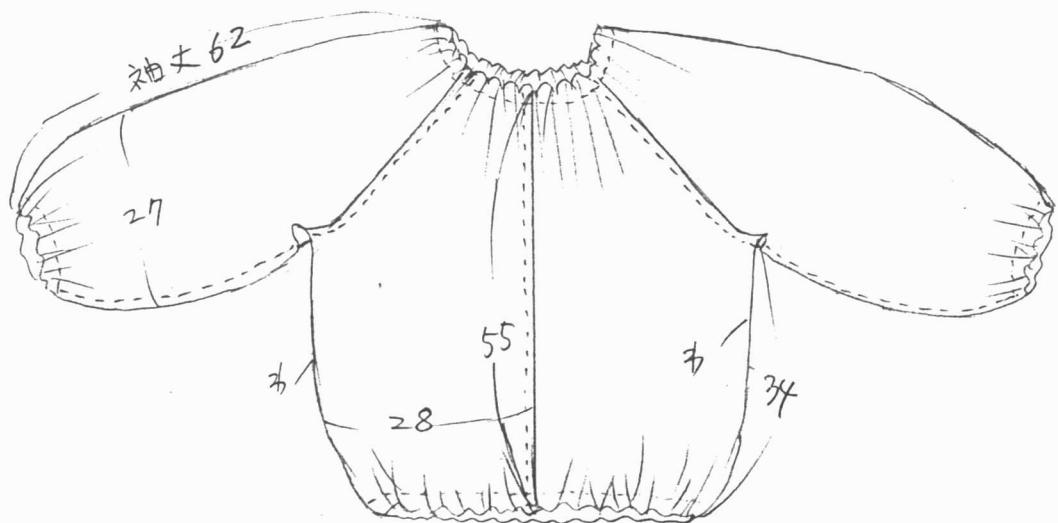
29.

手
(一)
14



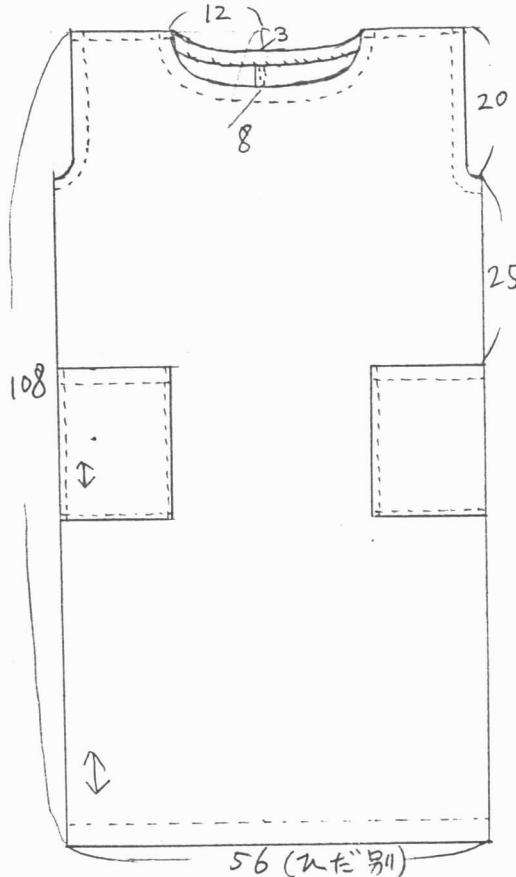
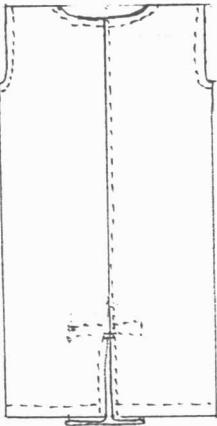


(八) ギヤザーラー袖ブラウス

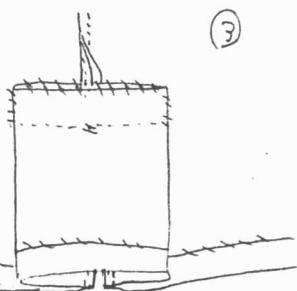


すつきりとして
いいですね。下に着ると
ジヤンパー^{パンツ}スカートになります。

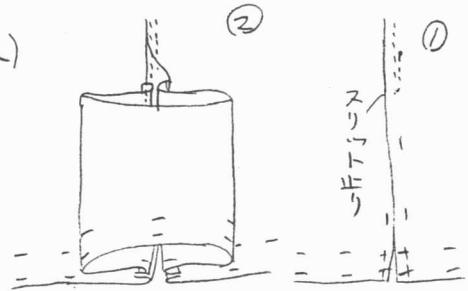
入れるとスカートにもなります。



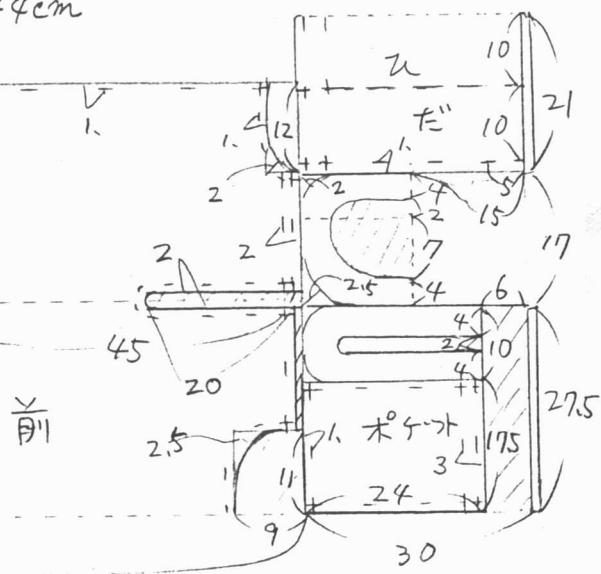
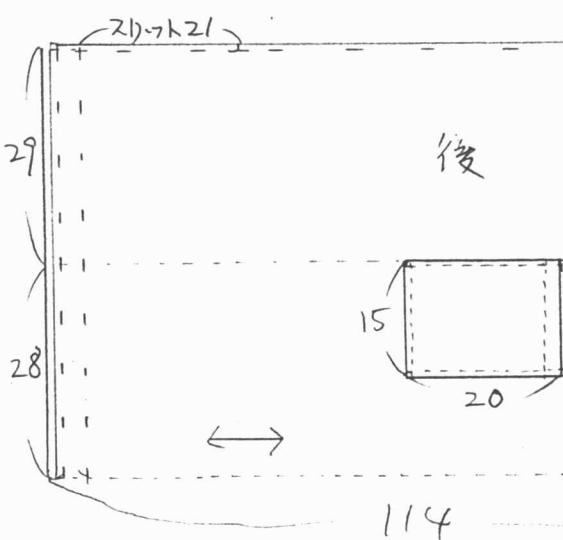
二、ワンピース ① 基本型・タイト風



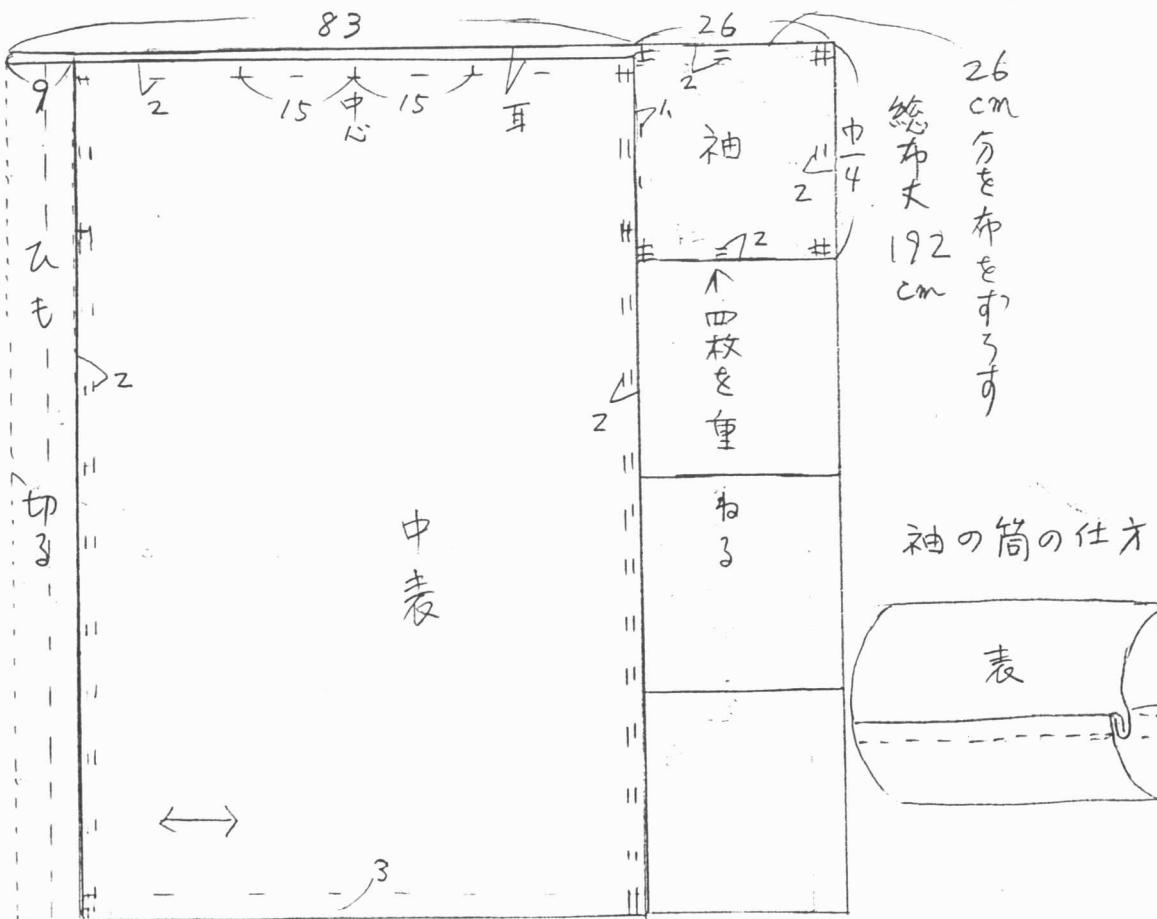
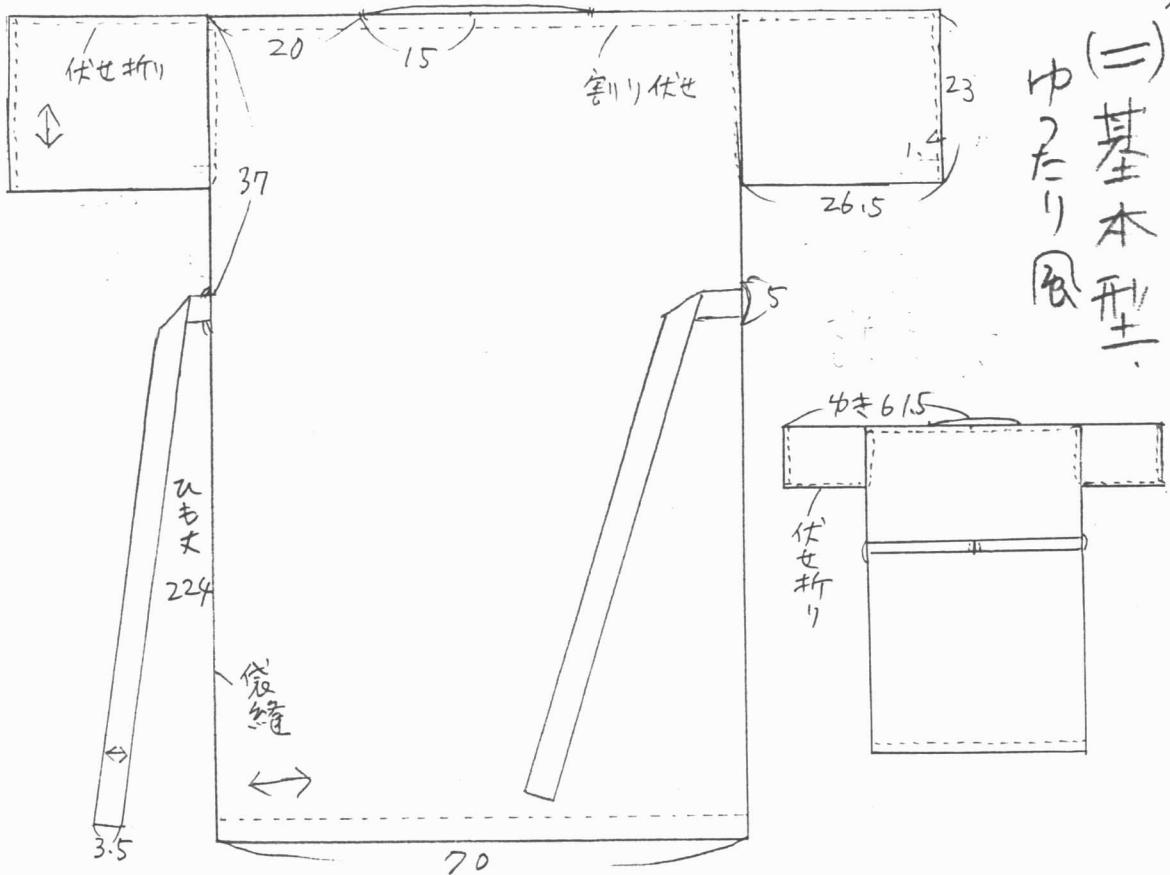
(スリットの仕末)



總布丈144cm

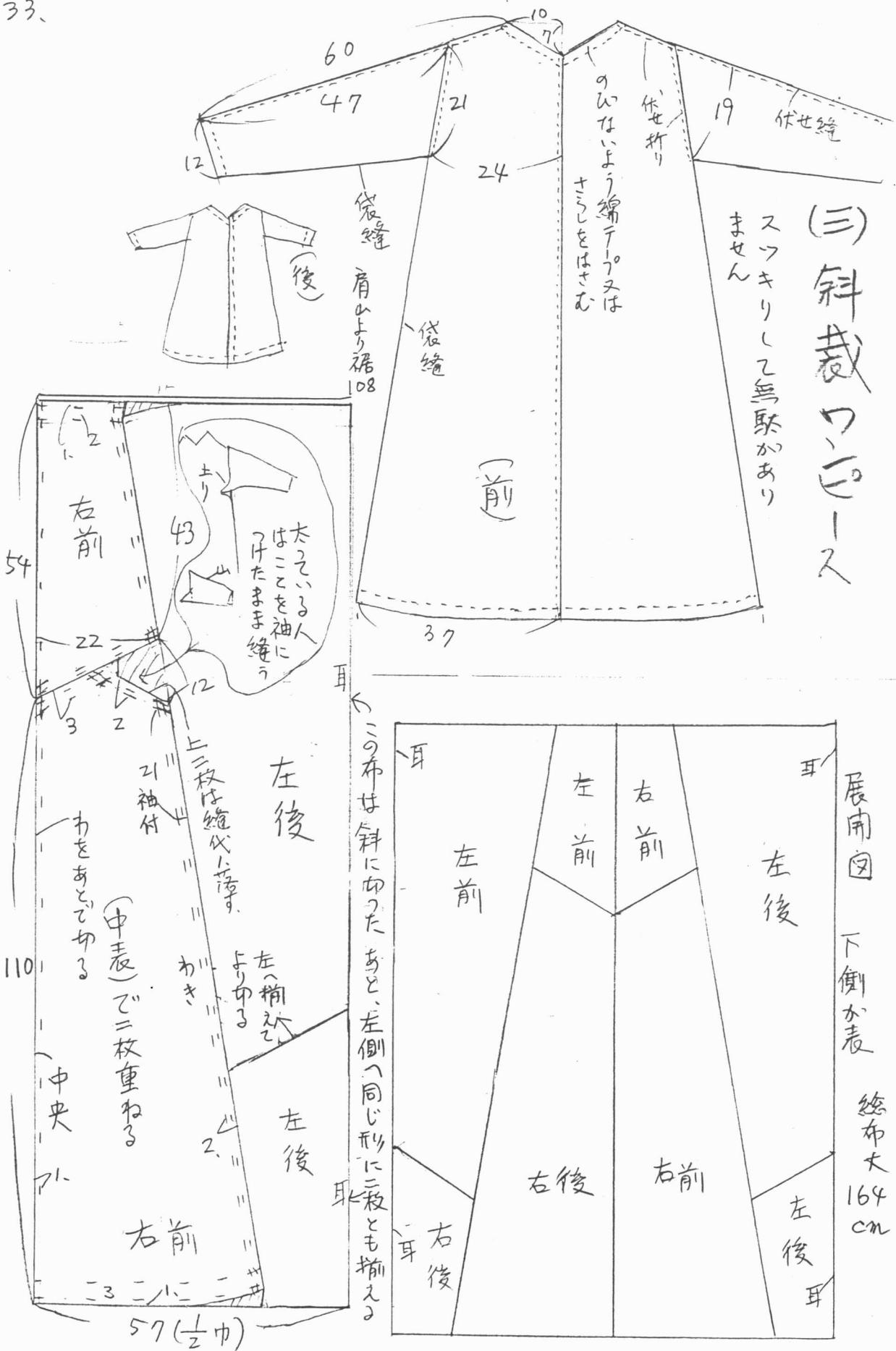


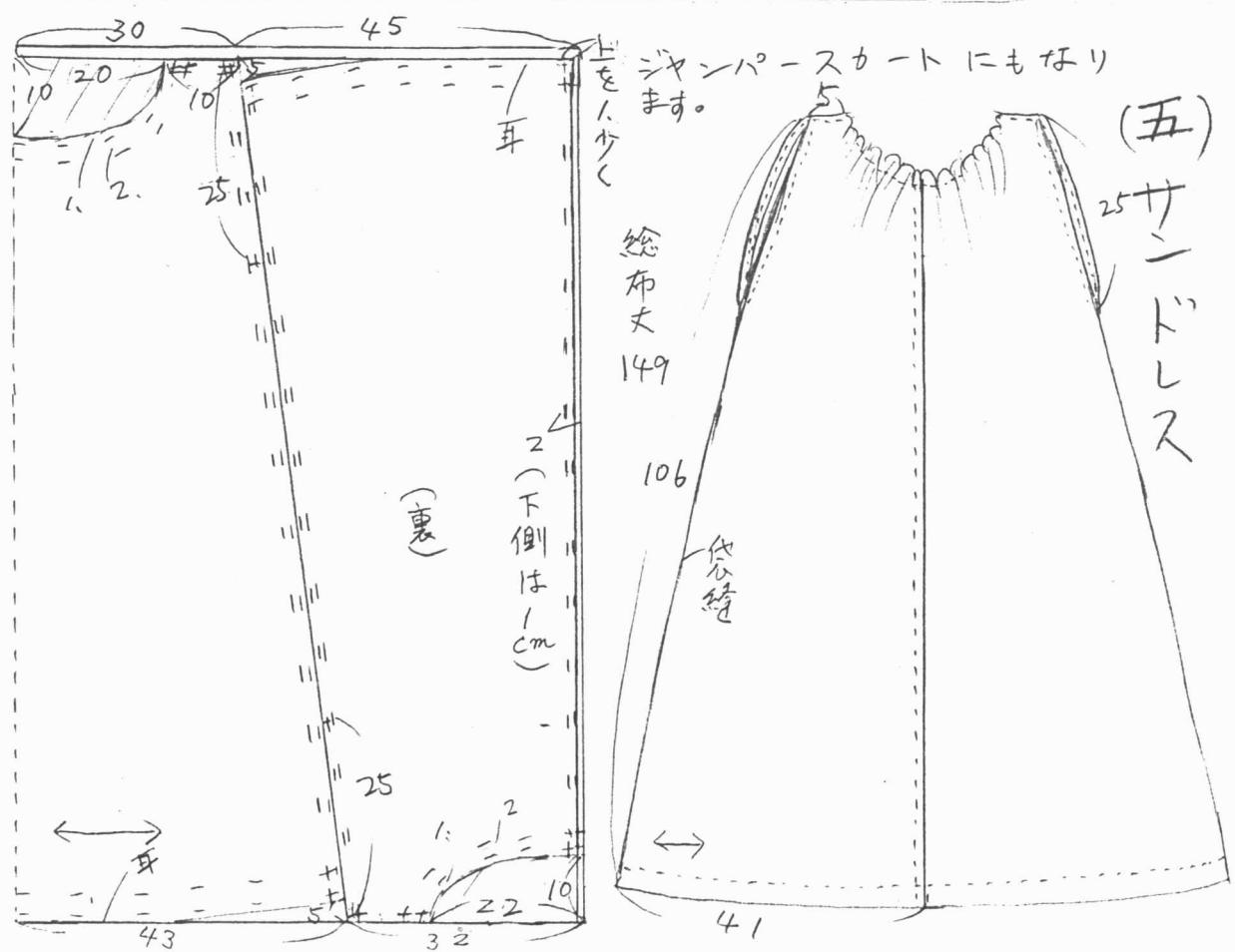
(二) 基本型
ゆきたり風



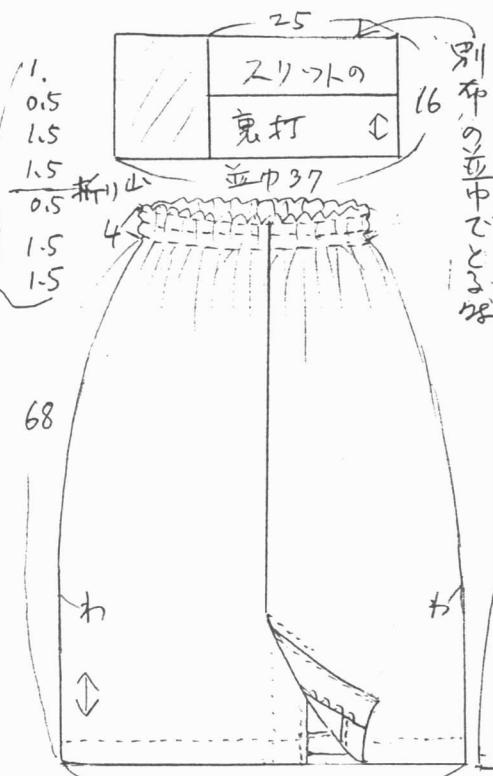
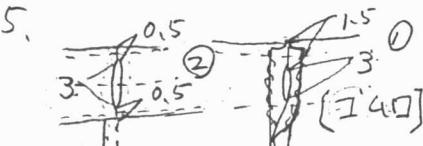
33.

手
(一)
16





35.



(一) 基本型 (裏)コムロ

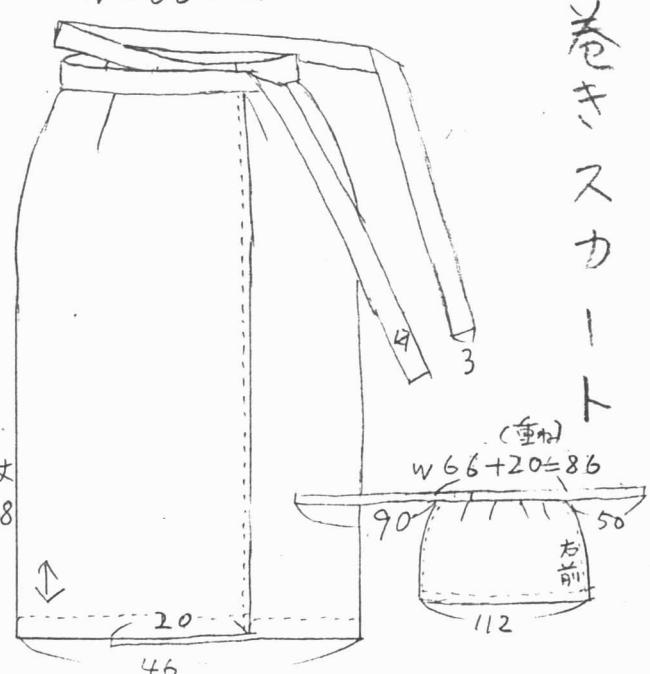
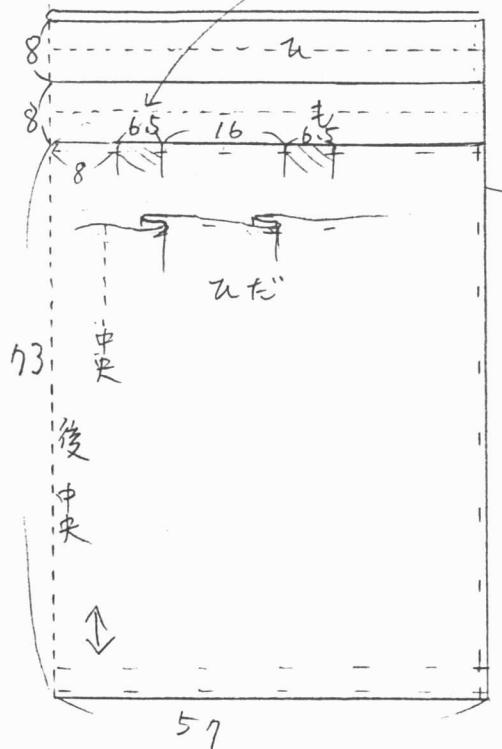
- 広巾114で89cm
- スリットを別布の時は
- 広巾114で81. 並中37で18
- ゴム0.7~1で75を2本

$$\text{ヒダ} \times 26 \div 4 = 6.5$$

上り巾112 - H92 = 20 (裾の重なり)
112 - 20 - W.66 = 26 (ヒダ)

$$H = 92$$

$$W = 66 \text{ として}$$



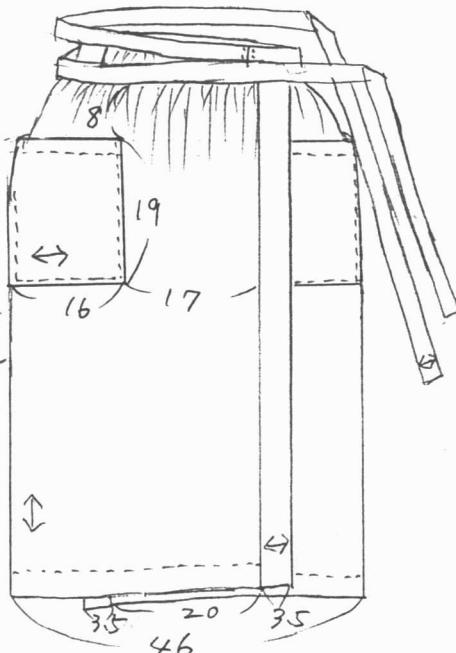
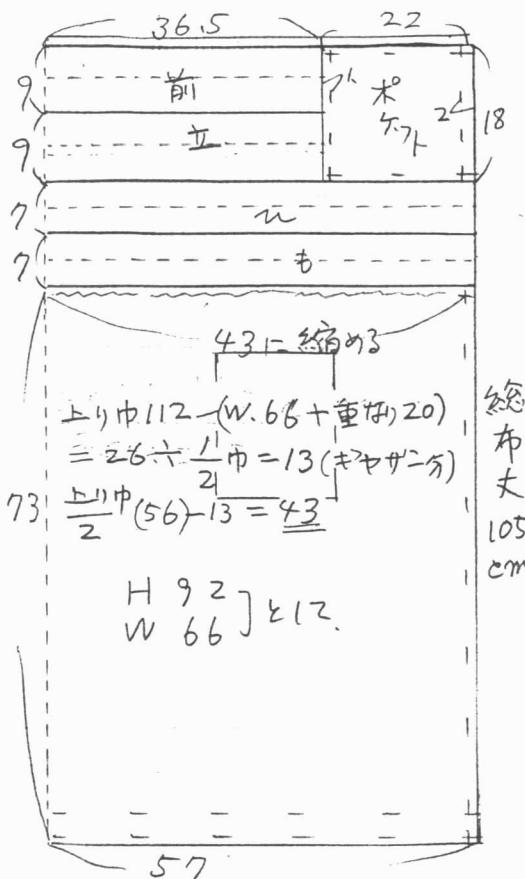
(二) 卷きスカート

(三) 前立付巻キースカート

ポケットもあり、合せの方も多く、便利なスカートです。ひもは前立よりで

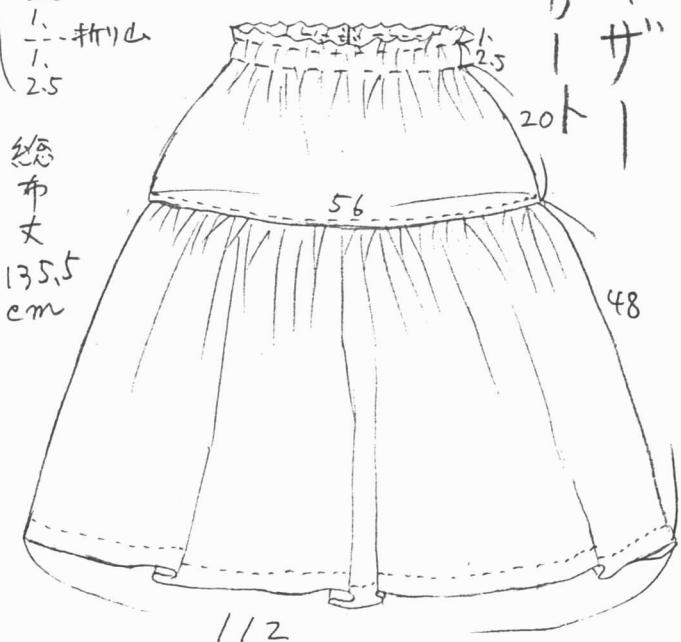
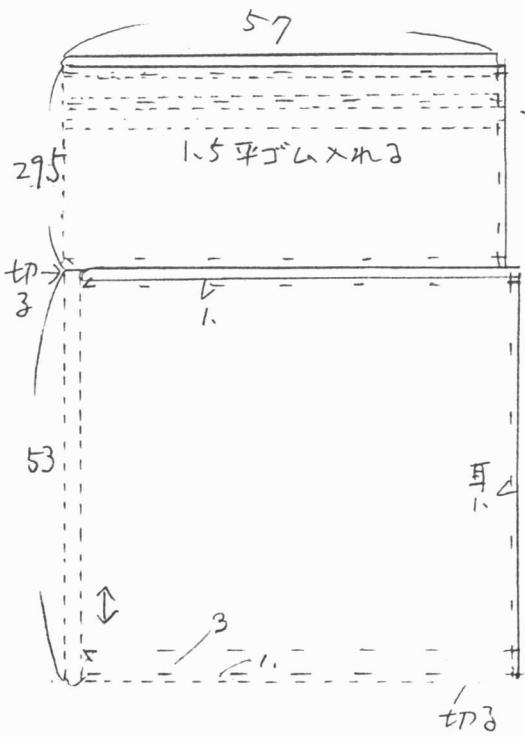
右50、
左90。

広げたところは(+)と同じです。



(四) ギャザースカート

仕立は並巾の項参照。



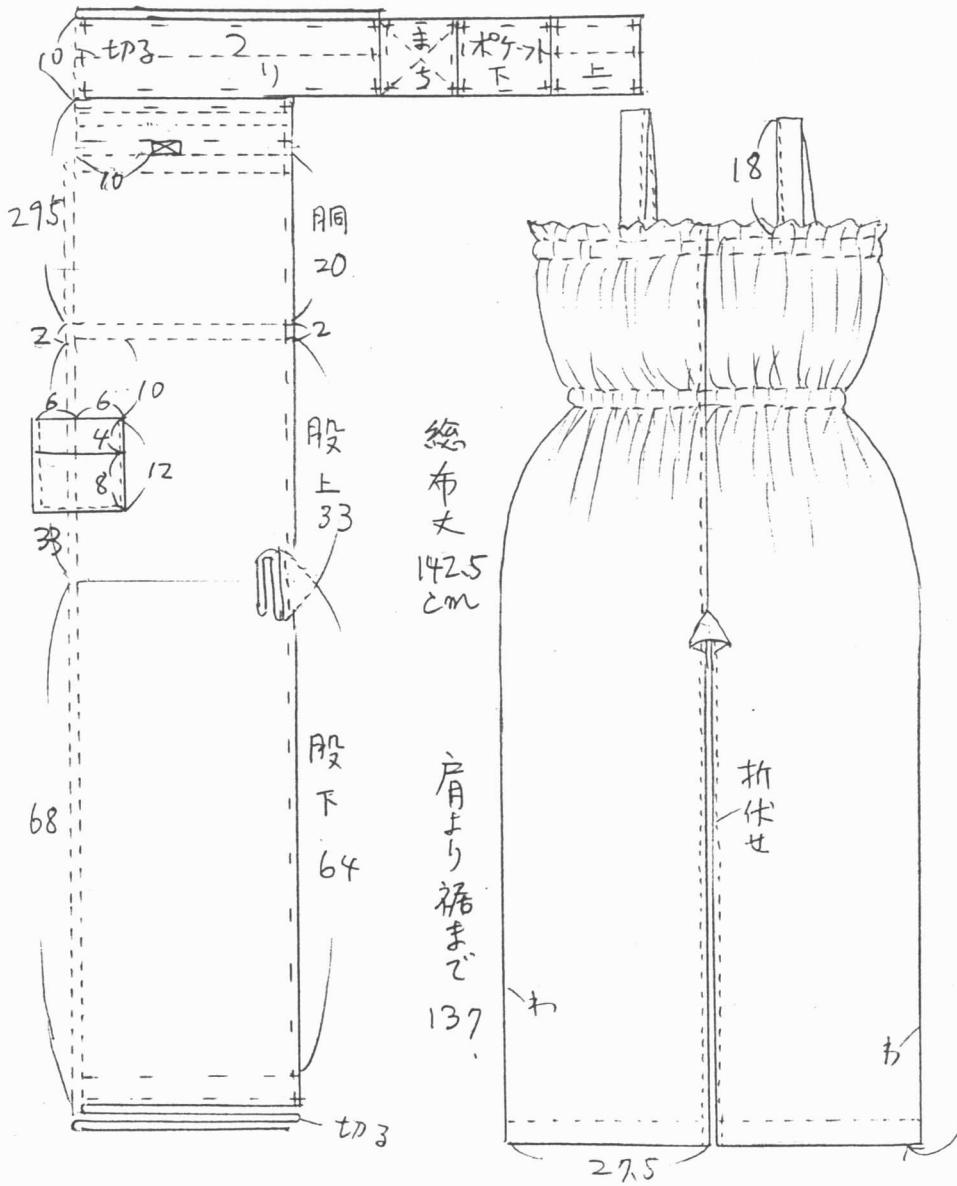
四.

パンタロン

胸当て付
フリルパンタロン(サロマント)

まちのつけ方
ラウス参考
ヤサ一

裾ゴムの時は
+5のところ(やどり)



後

記

本書を書き出してより二十日余りたちました。店の仕事を十八オの息子に、あらかたまかせて一心不二んに書き通しました。明後日の催しであります「手縫洋裁」の講習会にまに合あせ3のにやりギリまでて大体終りました。書き進むうちに、次から次へと新うしハテザインが浮かんて来て止まらず、それを拾つていつてみると、本書の何倍の量になります。なるべく平易な、基礎的なものばかりにしほり、次回にまた続編を出させていただきます。切うな「縫わな」前後に廻あせる「余り布を出さない」と主眼として、本書は出来ました。

明日は展らん会の搬入で一日暮れます。明後日が初日。その間の寸時に刺子作呂（今回の新作）もな「にとり組まねばなりません。幸い生徒たちに刺してもらつたプリント布のがあります。何んとか二、三点はまとりなければなりません。

本書のあと「インテリヤ縫」を出す予定です

昭和五五年三月二十三日夜九時三〇分
銀座 亞紀枝

手縫の洋裁

著者	発行日	発行所
銀座 亞紀枝	昭和五十五年三月二十六日	自
東京都 西多摩郡檜原村	四二五、九一、六二〇	堂

巻禁します

本書を無断で転載、コピー
します

（56・ク・ク 布改訂）

昭和六十二年五月十七日

改正価

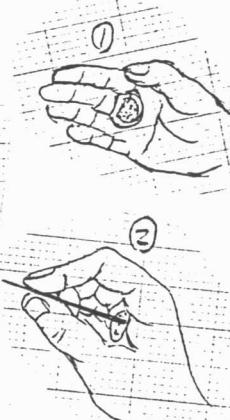
（二、四〇〇 円）（本体）

横山 千草十の月

手縫の基本(付録)

手縫で仕立た物の優しさ、腹巻は格別の格でしょう。私は刺子と共に作品すべてに手縫をおすすめ致します。

一、針の持ち方、針はすぐへ長針を使います。

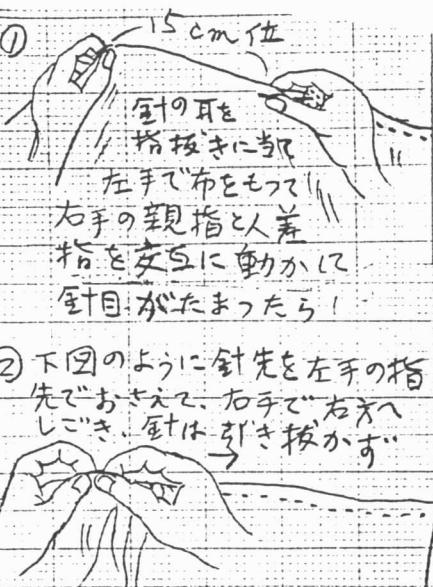


長針は、針目が手の中に入たくさんたまつて縫うのに適ります

四、運針の仕方

二、糸の長さのきり方
どの仕立も、身丈位の長さまでは、現物を計る場合余字で半返しとか始めや縫うに引くと、その分余計に要ります。一端に早く縫うと、糸がもうとすよと、糸がもつてあります。ですが、糸の長さは、布丈と自らのペースに合わせて、ほどよく切ります。

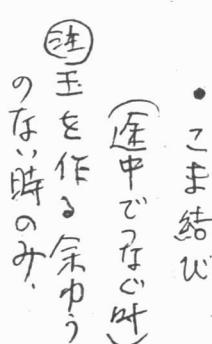
三、糸の結び方



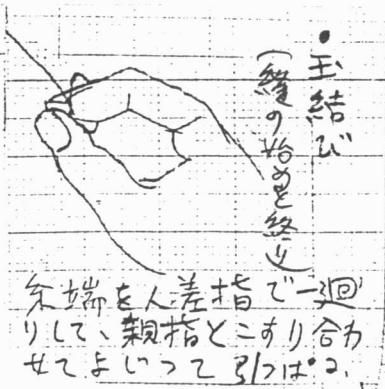
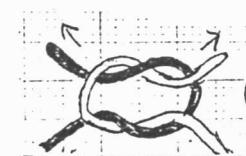
② 下図のように針先を左手の指先でおさえて、右手で「右へじこ」、針は引き抜かず



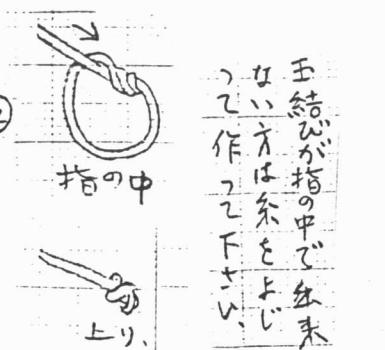
そのまま①の動作をくり返し、糸が終るか目的まで縫えたか、長く縫つたかしたら、針を抜いて、じこ



(途中でつなぐ時)

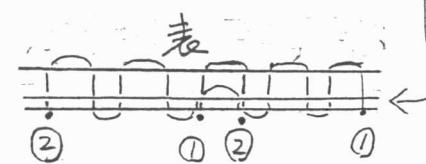
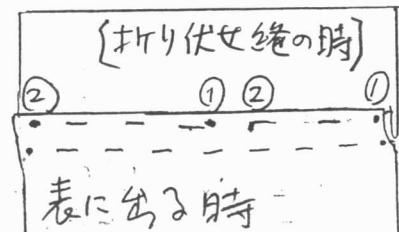
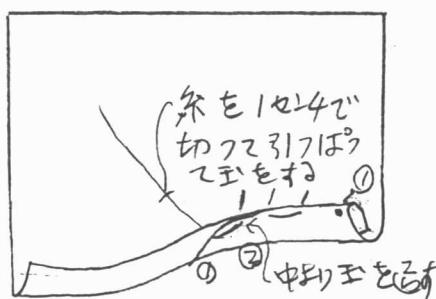
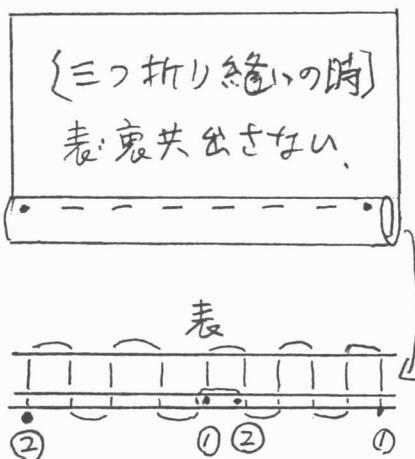
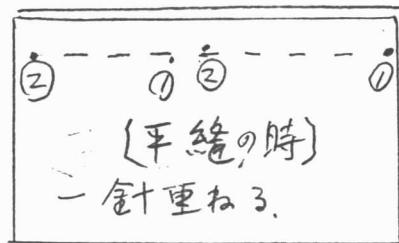


糸端を人差指で一回りして、親指と二通り合せようつて引けば。



六、糸ノギの仕方

1.

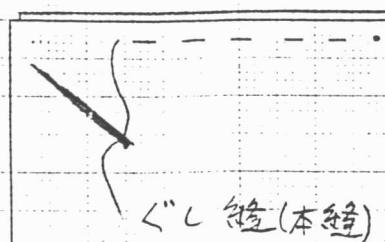


表に二針目は出さない。

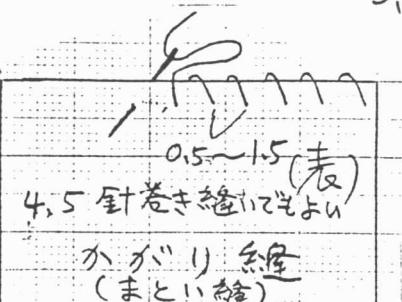
1. 七、

普通の縫い方

(一巻昂く)
明いたところを止め
る。



縫う布と場所によつて。
0.2~0.5位の針目でやめ。

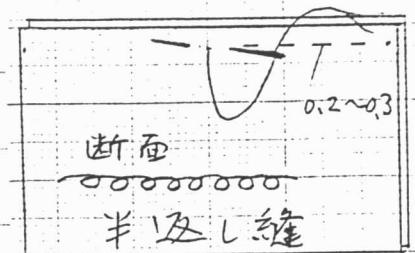


裁目のほつれに。
ほつれ安いところ程細く

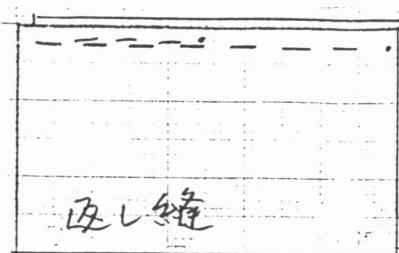
3.

4.

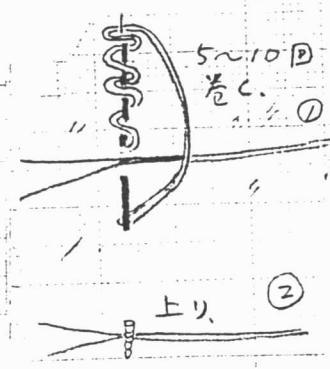
2.



ミシンのように丈夫にしたい
時、衿付、袖付けなど。



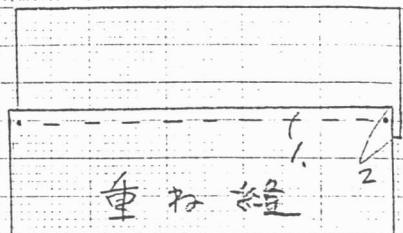
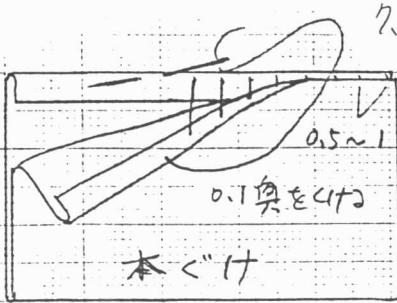
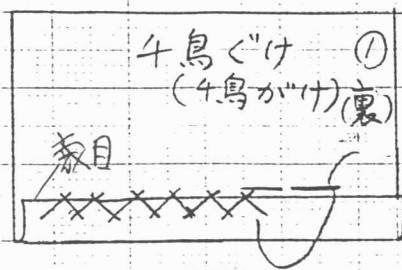
明きて止まつ時



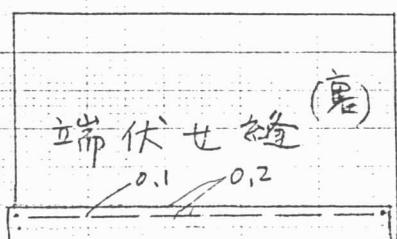
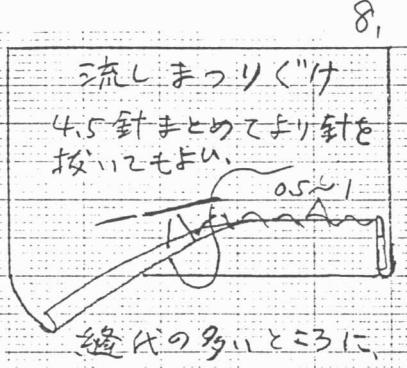
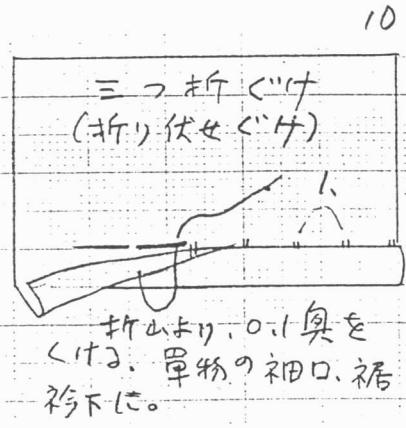
六、虫止めの仕方

手引

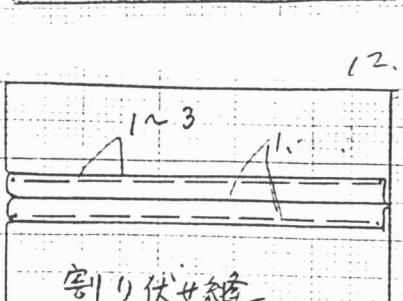
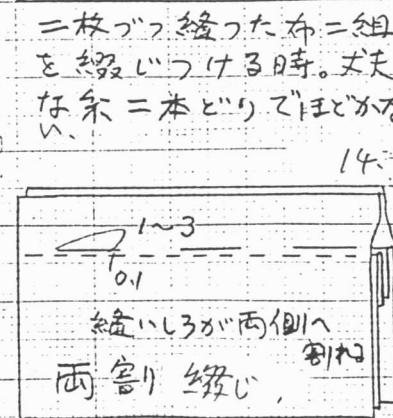
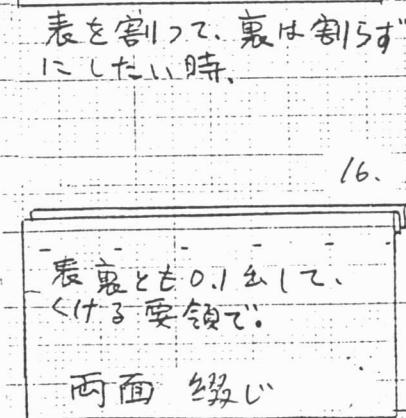
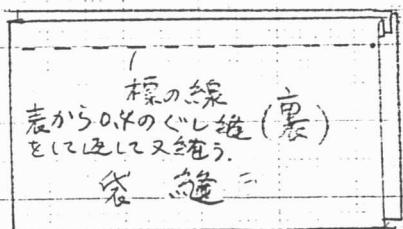
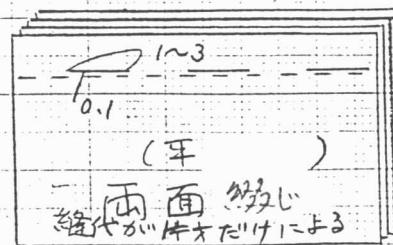
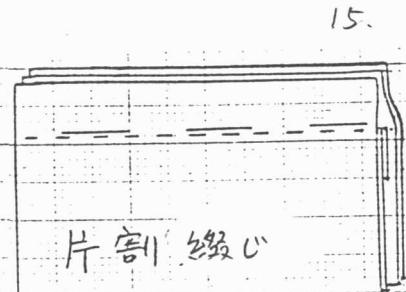
5.



表にぬないところやかましにすりやすくなつた日等、芯布など。



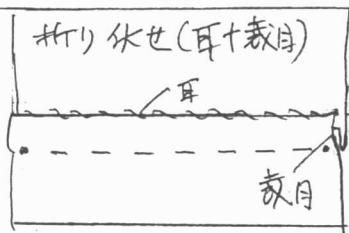
ちょっと折って形をつけたい時(肩当など)



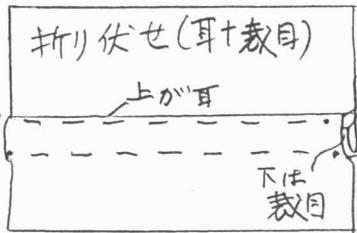
割り伏せは細針のぐし縫いが、半返して縫つて伏せる。布を目だたずばぐ時、洋服の前・後中央。

表、裏とも割りたい時
丈夫な糸で。手どかない。

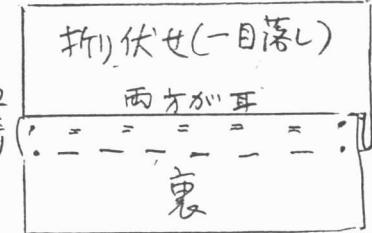
5.



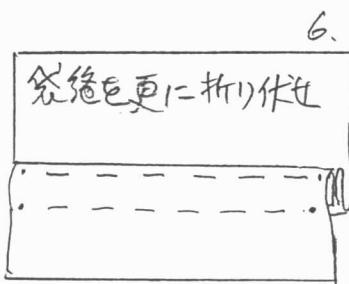
袖ぐりを裁ち落した
時など、



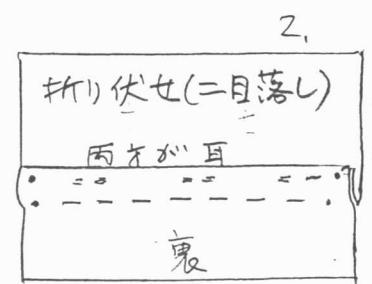
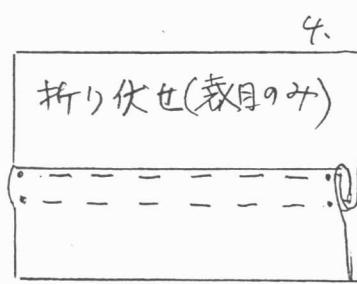
袖ぐりを裁ち落した
時など、



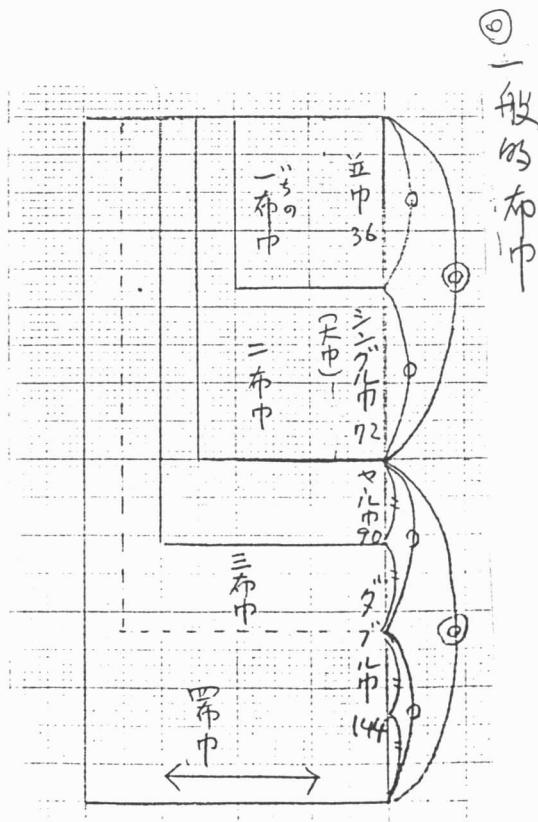
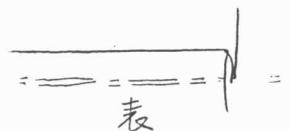
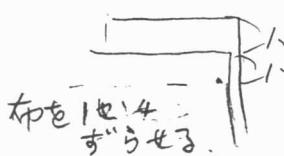
裏



ハーフカット以上など、

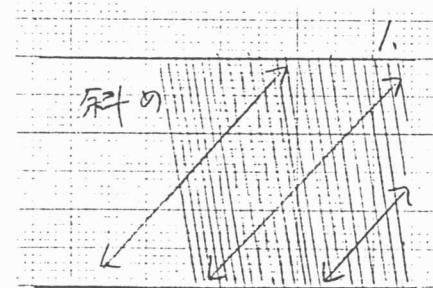


手縫が強調される
縫い方。



(本体2,400円) 税込2,520円

② 地古の仕方



矢印に沿つぱつてなおし、
キリを口切りでアイロンを
かけつか、折つて座布団
の下に敷いておく。2.

